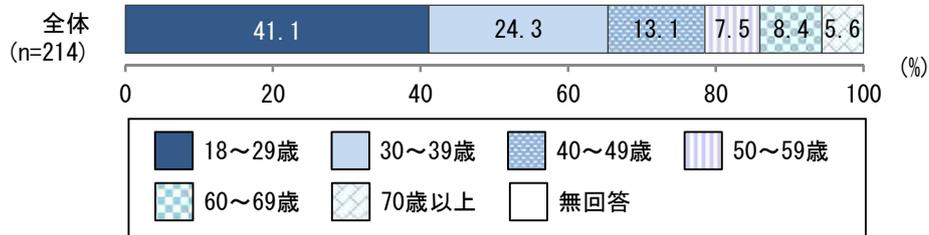


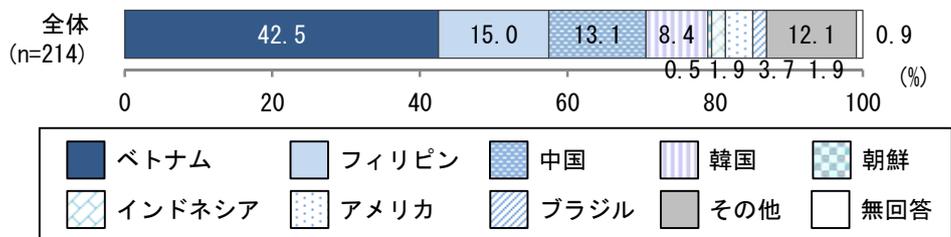
IV 調査結果（外国籍住民）

1 回答者属性について

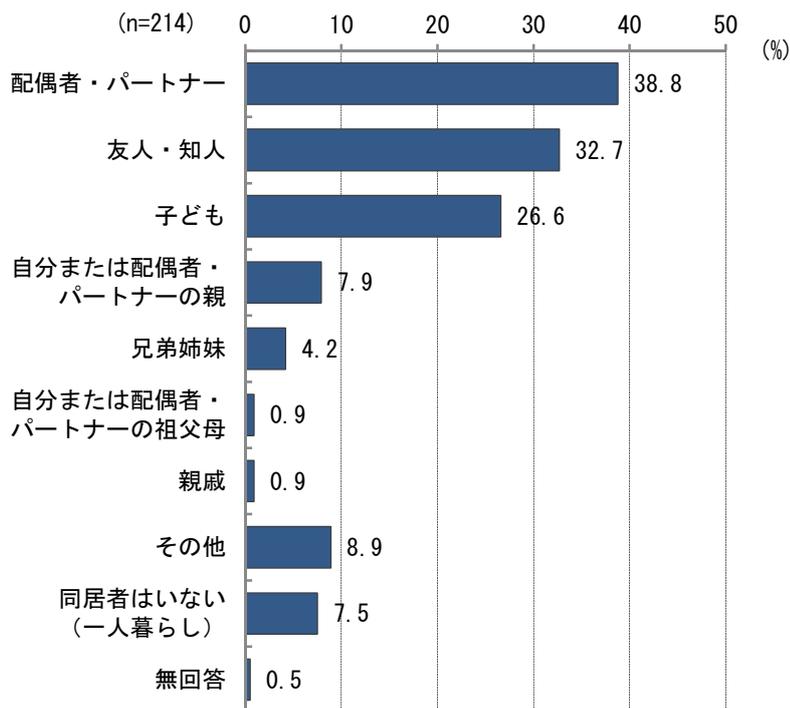
問1 年齢を教えてください。（○は1つ）



問2 国籍を教えてください。（○は1つ）

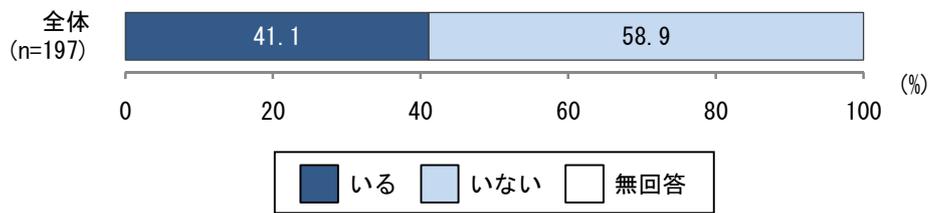


問3 同居者（誰と住んでいるか）を教えてください。（○はいくつでも）

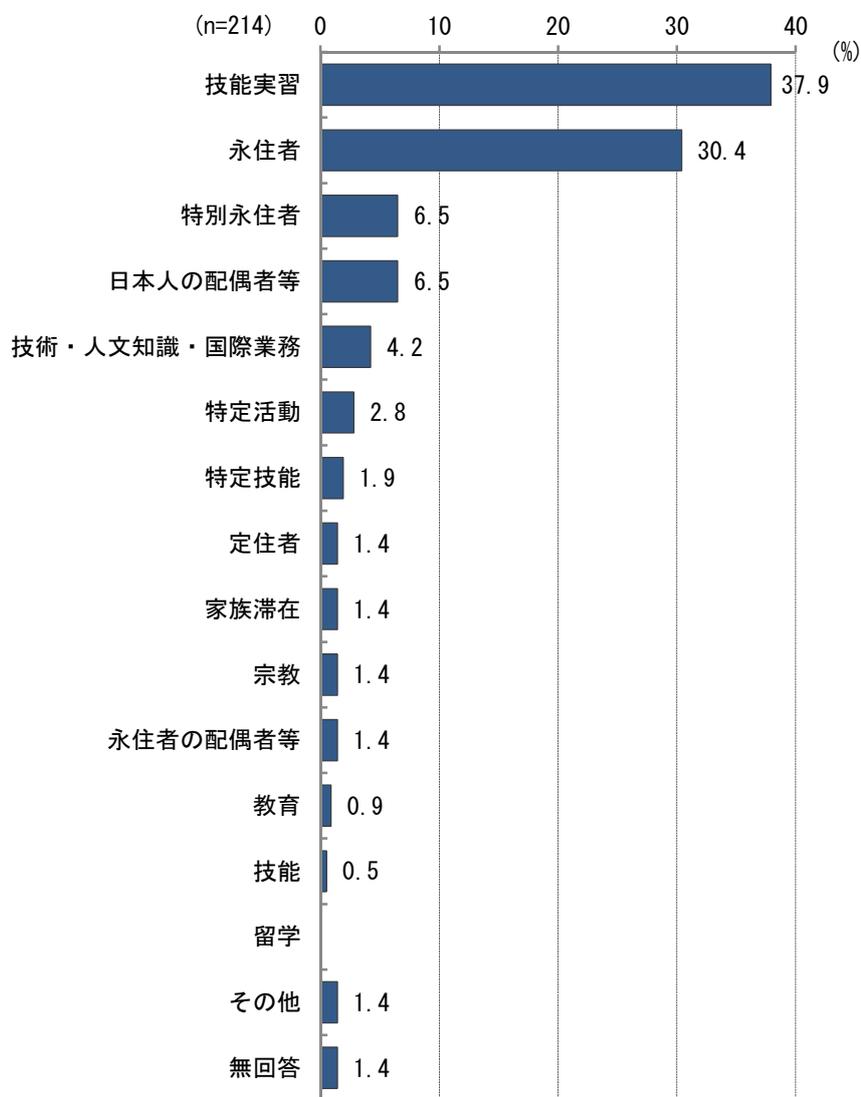


問3で1～8と答えた方に聞きます。

問4 同居者の中に日本人はいますか。(○は1つ)



問5 在留資格を教えてください。(○は1つ)



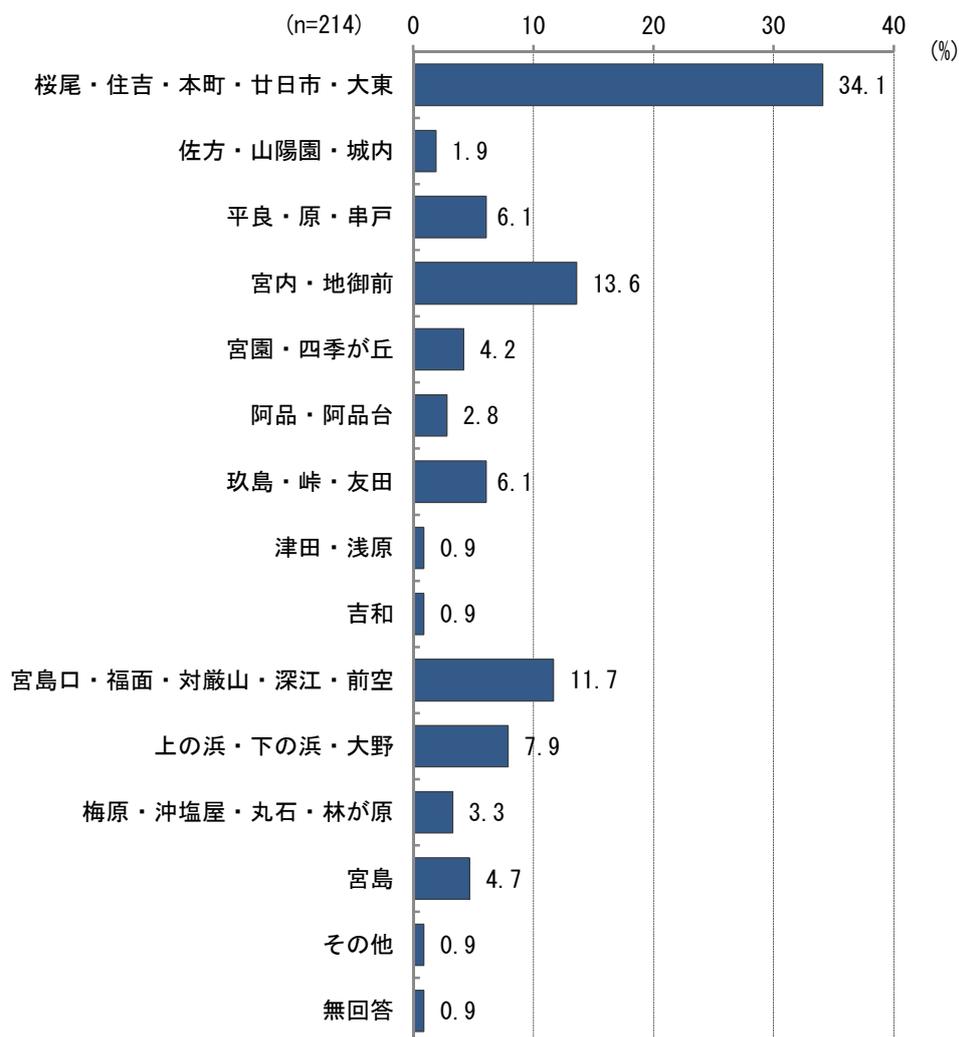
問6 住んでいる地区を教えてください。(〇は1つ)

【居住地域（6区分）】

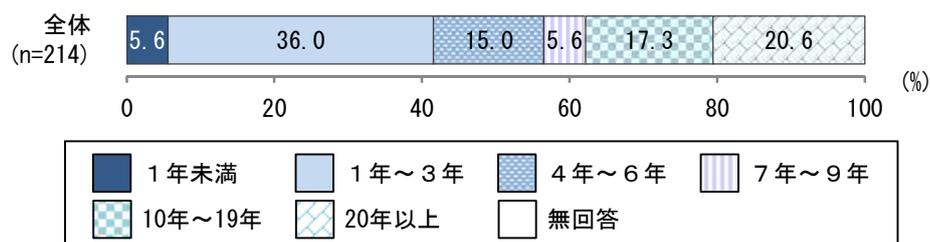


※廿日市地域…桜尾・住吉・本町・廿日市・大東、佐方・山陽園・城内、平良・原・串戸、宮内・地御前、宮園・四季が丘、阿品・阿品台
 佐伯地域…玖島・峠・友田・津田・浅原 吉和地域…吉和
 大野地域…宮島口・福面・対巖山・深江・前空、上の浜・下の浜・大野、梅原・沖塩屋・丸石・林が原
 宮島地域…宮島

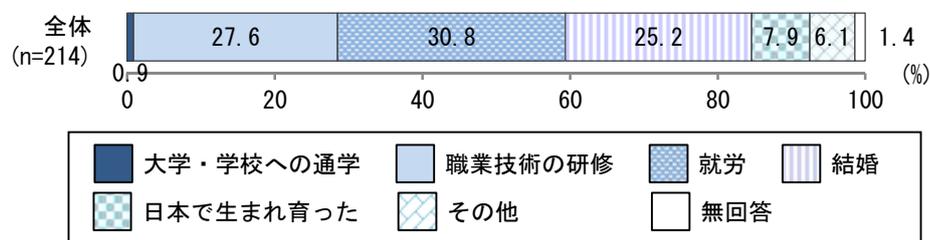
【居住地区】



問7 日本に住んでいる期間を教えてください。(○は1つ)



問8 日本に住んでいる理由を教えてください。(○は1つ)

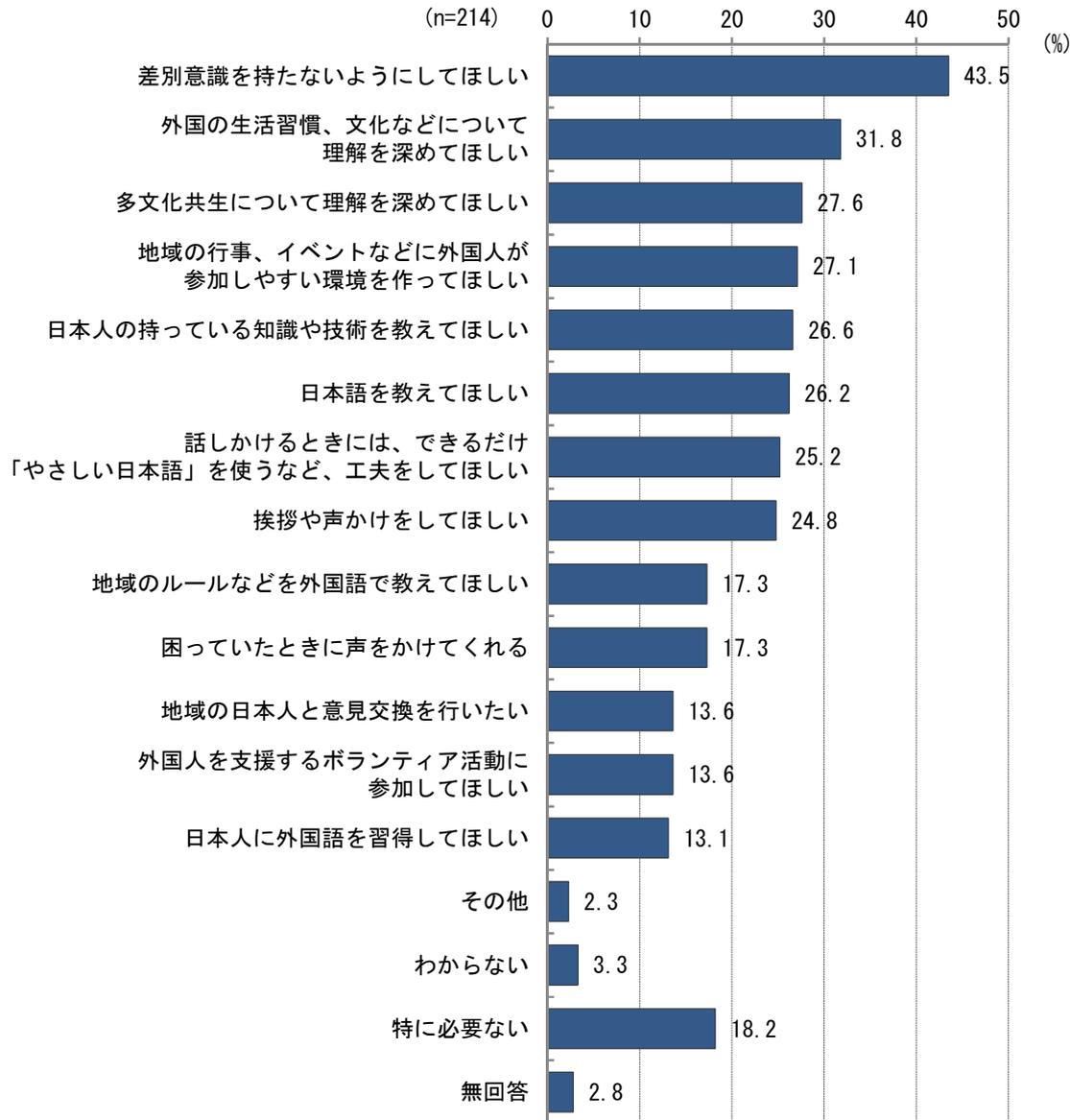


2 暮らし・付き合いについて

問9 あなたが廿日市市で生活していく中で、日本人住民にしてほしいことはありますか。

(〇はいくつでも)

【全体】



日本人住民にしてほしいことについて、「差別意識を持たないようにしてほしい」との回答が43.5%と最も高く、次いで、「外国の生活習慣、文化などについて理解を深めてほしい」(31.8%)、「多文化共生について理解を深めてほしい」(27.6%)などの順となっている。

【居住年数別】

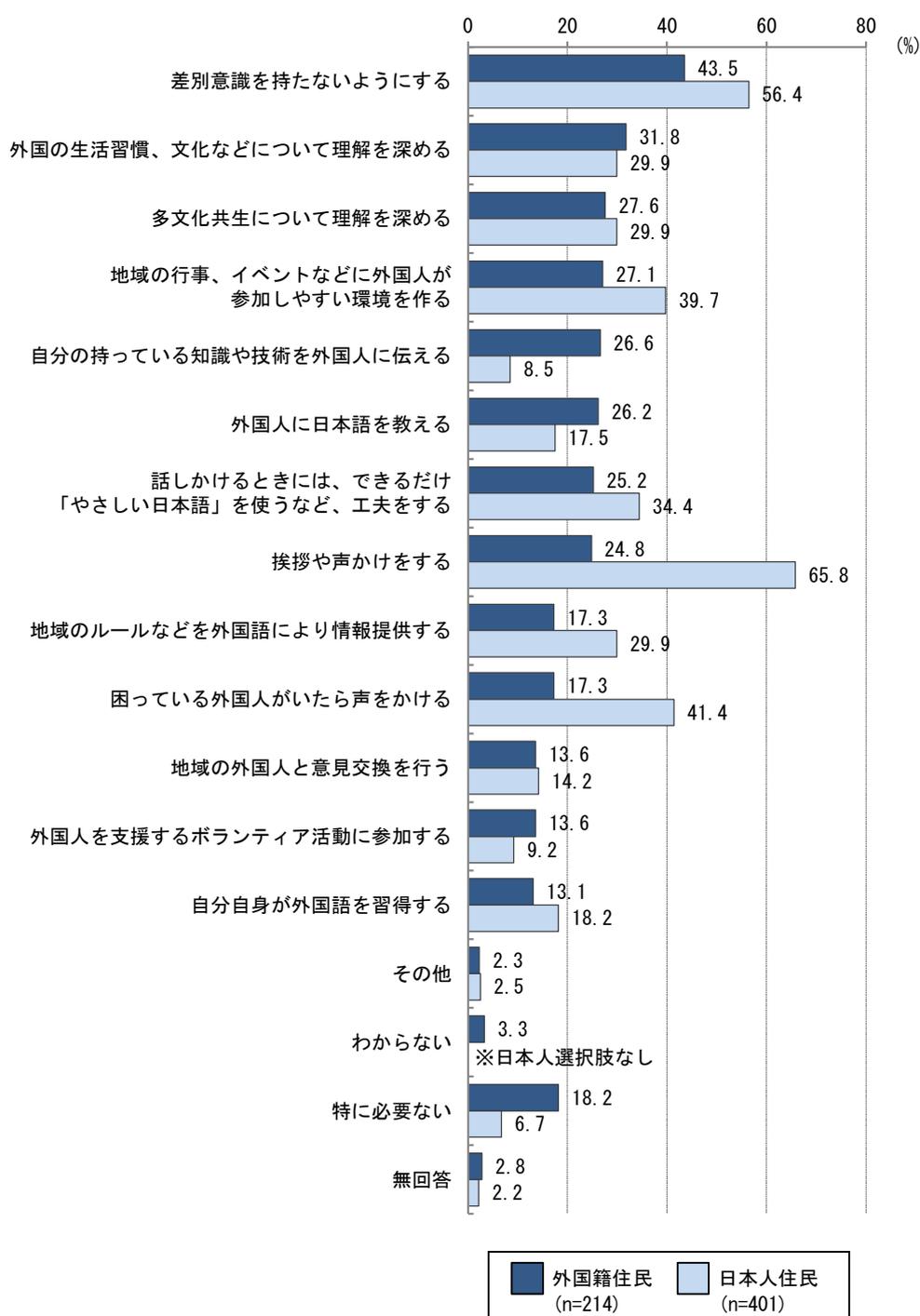
居住年数別にみると、「差別意識を持たないようにしてほしい」との回答は1年～3年、10年～19年で5割超と高くなっている。また、「特に必要ない」との回答は20年以上で約3割と高くなっている。

	挨拶や声かけをしてほしい	外国人が参加しやすい環境を作ってほしい	地域の行事、イベントなどに参加してほしい	話しかけるときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫してほしい	地域のルールなどを外国語で教えてほしい	日本人の持っている知識や技術を教えてほしい	多文化共生について理解を深めてほしい	外国の生活習慣、文化などについて理解を深めてほしい	差別意識を持たないようにしてほしい	日本語を教えてほしい	地域の日本人と意見交換を行いたい	困っていたときに声をかけてくれる	外国人を支援するボランティア活動に参加してほしい	日本人に外国語を習得してほしい	その他	わからない	特に必要ない	無回答
全体 (n=214)	24.8	27.1	25.2	17.3	26.6	27.6	31.8	43.5	26.2	13.6	17.3	13.6	13.1	2.3	3.3	18.2	2.8	
居住年数別																		
1年未満 (n=12)	8.3	25.0	25.0	25.0	16.7	25.0	-	16.7	33.3	-	-	8.3	8.3	-	16.7	8.3	8.3	
1年～3年 (n=77)	29.9	26.0	24.7	18.2	36.4	27.3	37.7	51.9	31.2	10.4	23.4	9.1	14.3	1.3	1.3	16.9	-	
4年～6年 (n=32)	15.6	34.4	18.8	21.9	28.1	25.0	25.0	34.4	34.4	18.8	12.5	21.9	15.6	3.1	-	18.8	-	
7年～9年 (n=12)	41.7	50.0	50.0	16.7	41.7	50.0	50.0	41.7	41.7	33.3	16.7	25.0	25.0	-	-	16.7	-	
10年～19年 (n=37)	27.0	37.8	35.1	16.2	21.6	32.4	43.2	51.4	18.9	18.9	8.1	18.9	13.5	2.7	5.4	13.5	5.4	
20年以上 (n=44)	20.5	9.1	15.9	11.4	11.4	20.5	20.5	36.4	11.4	9.1	22.7	9.1	6.8	4.5	4.5	27.3	6.8	

1位 2位 3位

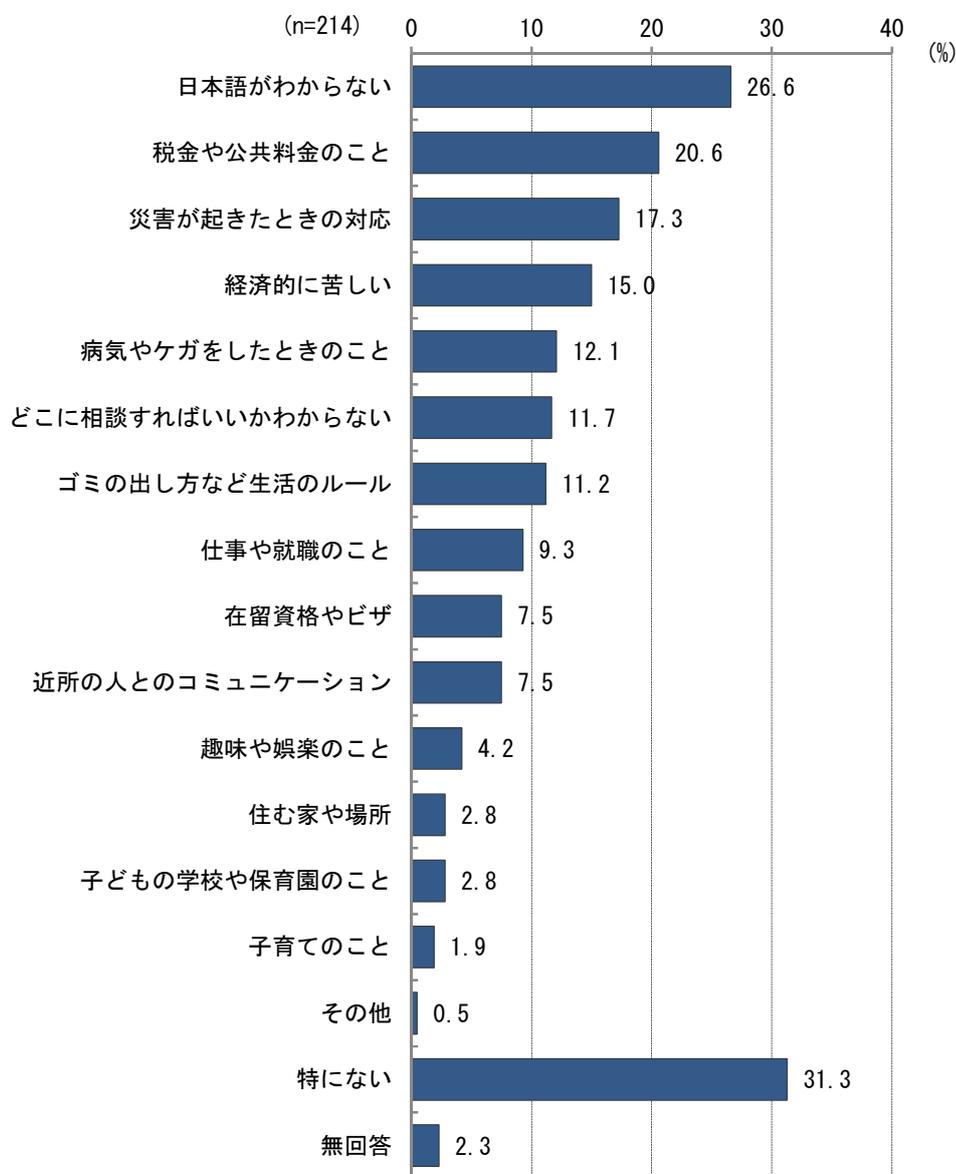
【回答者属性別】

回答者属性別にみると、「挨拶や声かけをする」との回答は外国籍住民（24.8%）が日本人住民（65.8%）を41.0ポイント、「困っている外国人がいたら声をかける」との回答は外国籍住民（17.3%）が日本人住民（41.4%）を24.1ポイント下回っている。一方、「自分の持っている知識や技術を外国人に伝える」との回答は外国籍住民（26.6%）が日本人住民（8.5%）を18.1ポイント上回っている。



問10 生活で困ったことや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

【全体】



生活で困ったことや不安なことについて、「日本語がわからない」との回答が26.6%と高く、次いで、「税金や公共料金のこと」(20.6%)、「災害が起きたときの対応」(17.3%)などの順となっている。また、「特にない」との回答も31.3%と高くなっている。

【居住年数別】

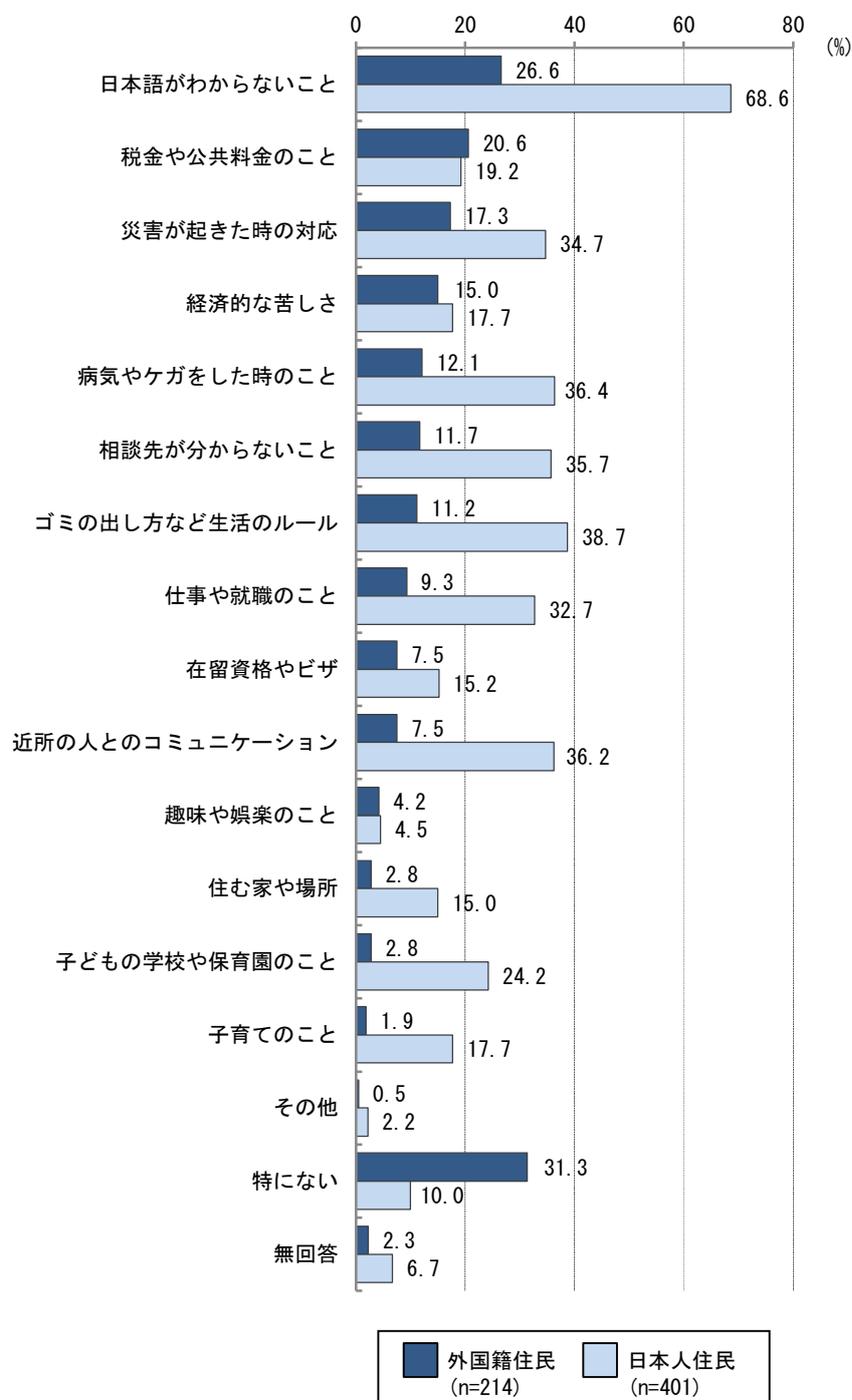
居住年数別にみると、「日本語がわからない」との回答は1年～9年で3割前後と高くなっている。また、「特にない」との回答は10年以上で4割前後と高くなっている。

	日本語がわからない	仕事や就職のこと	在留資格やビザ	住む家や場所	ゴミの出し方など生活のルール	税金や公共料金のこと	近所の人とのコミュニケーション	子どもの学校や保育園のこと	子育てのこと	災害が起きたときの対応	と病気やケガをしたときのこと	趣味や娯楽のこと	どこに相談すればいいかわからない	経済的に苦しい	その他	特にない	無回答
全体 (n=214)	26.6	9.3	7.5	2.8	11.2	20.6	7.5	2.8	1.9	17.3	12.1	4.2	11.7	15.0	0.5	31.3	2.3
居住年数別																	
1年未満 (n=12)	58.3	-	8.3	8.3	25.0	33.3	-	8.3	-	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	-	25.0	-
1年～3年 (n=77)	33.8	9.1	7.8	2.6	13.0	20.8	7.8	-	1.3	15.6	11.7	2.6	5.2	18.2	-	29.9	-
4年～6年 (n=32)	28.1	9.4	15.6	-	15.6	21.9	12.5	6.3	-	28.1	18.8	3.1	18.8	12.5	-	25.0	-
7年～9年 (n=12)	33.3	8.3	-	-	25.0	41.7	8.3	8.3	8.3	33.3	16.7	-	8.3	8.3	-	8.3	-
10年～19年 (n=37)	8.1	8.1	2.7	5.4	5.4	10.8	8.1	2.7	2.7	8.1	10.8	-	18.9	18.9	-	35.1	5.4
20年以上 (n=44)	18.2	13.6	6.8	2.3	2.3	18.2	4.5	2.3	2.3	18.2	6.8	11.4	13.6	11.4	2.3	43.2	6.8

1位 2位 3位

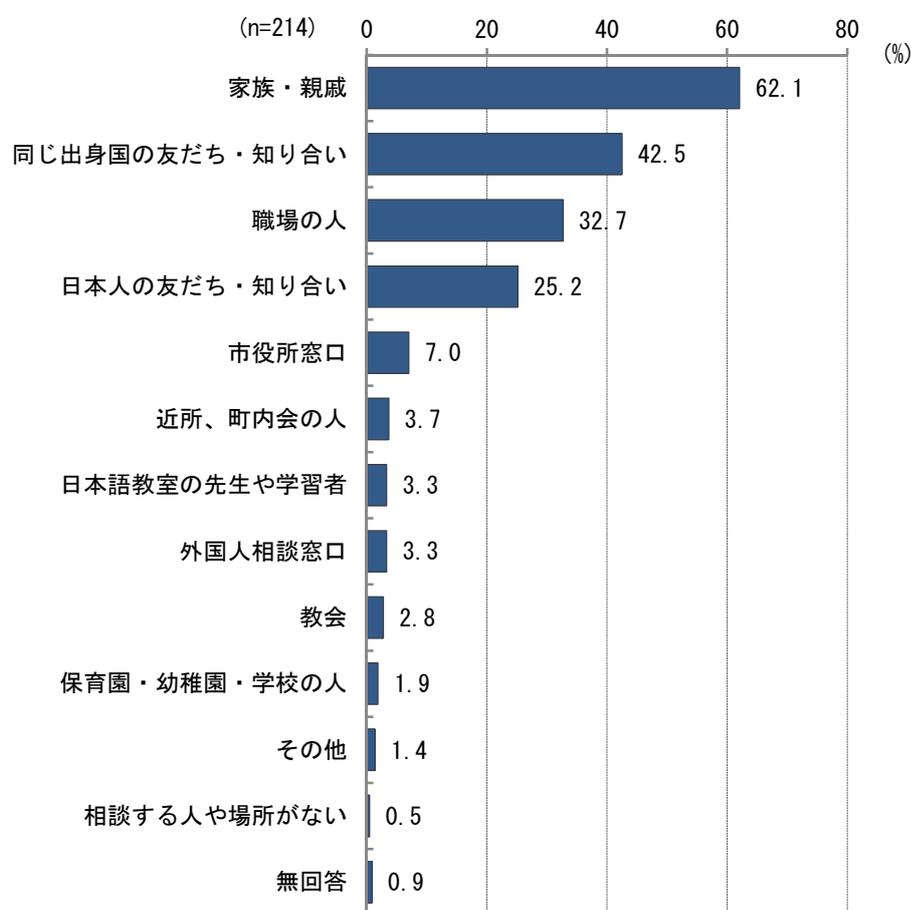
【回答者属性別】

回答者属性別にみると、「日本語がわからないこと」との回答は外国籍住民（26.6%）が日本人住民（68.6%）を42.0ポイント下回っている。一方、「特にない」との回答は外国籍住民（31.3%）が日本人住民（10.0%）を21.3ポイント上回っている。



問 11 困ったとき誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

【全体】



困ったときの相談先について、「家族・親族」との回答が62.1%と最も高く、次いで、「同じ出身国の友だち・知り合い」(42.5%)、「職場の人」(32.7%)などの順となっている。

【年齢別】

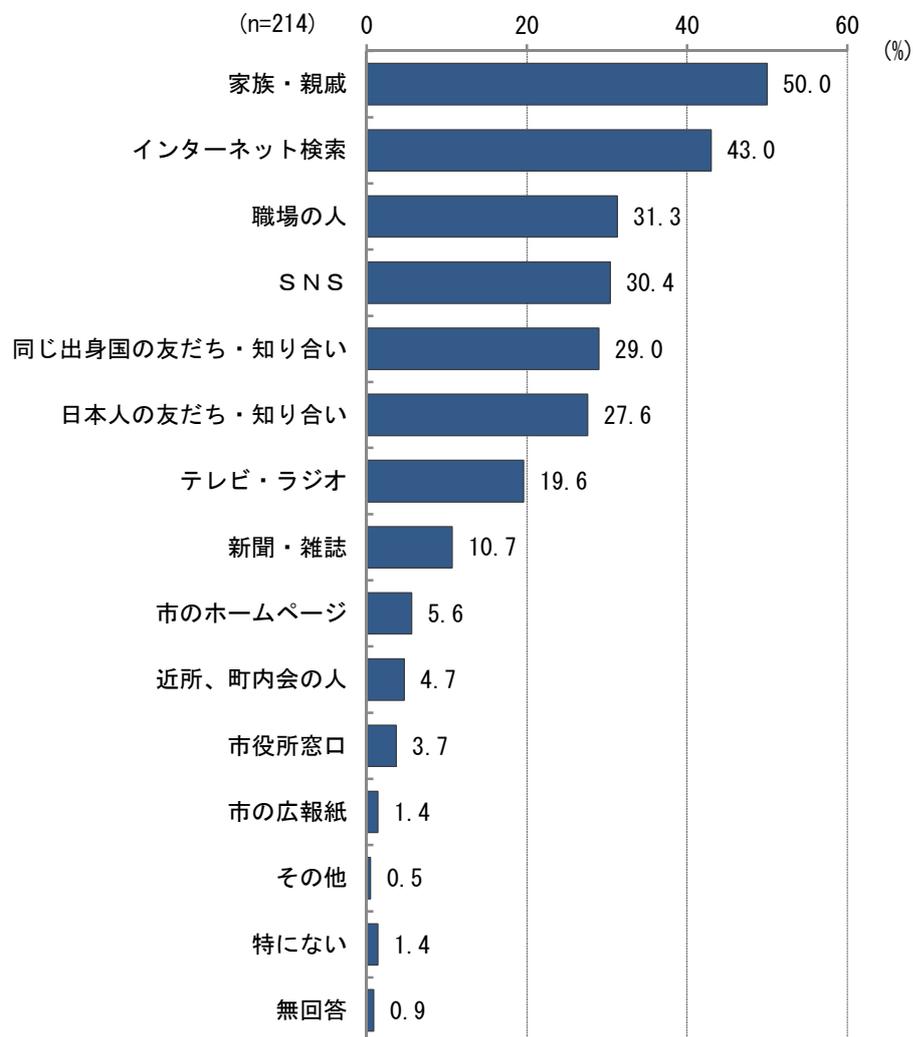
年齢別にみると、「職場の人」との回答は18～29歳で4割台半ば、「市役所窓口」との回答は70歳以上で4割超と高くなっている。

	家族・親戚	同じ出身国の友だち・知り合い	日本人の友だち・知り合い	職場の人	近所、町内会の人	保育園・幼稚園・学校の人	学習者	日本語教室の先生や	市役所窓口	外国人相談窓口	教会	その他	相談する人や場所がない	無回答
全 体 (n=214)	62.1	42.5	25.2	32.7	3.7	1.9	3.3	7.0	3.3	2.8	1.4	0.5	0.9	
18～29歳 (n=88)	44.3	51.1	18.2	43.2	-	-	2.3	3.4	2.3	1.1	2.3	-	-	
30～39歳 (n=52)	69.2	48.1	34.6	34.6	7.7	5.8	3.8	7.7	9.6	1.9	1.9	-	1.9	
40～49歳 (n=28)	75.0	46.4	35.7	32.1	7.1	3.6	7.1	3.6	-	7.1	-	-	-	
50～59歳 (n=16)	75.0	25.0	31.3	12.5	-	-	6.3	6.3	-	-	-	-	-	
60～69歳 (n=18)	77.8	22.2	11.1	5.6	5.6	-	-	5.6	-	5.6	-	5.6	-	
70歳以上 (n=12)	91.7	-	25.0	16.7	8.3	-	-	41.7	-	8.3	-	-	8.3	

1位 2位 3位

問 12 生活に必要な情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

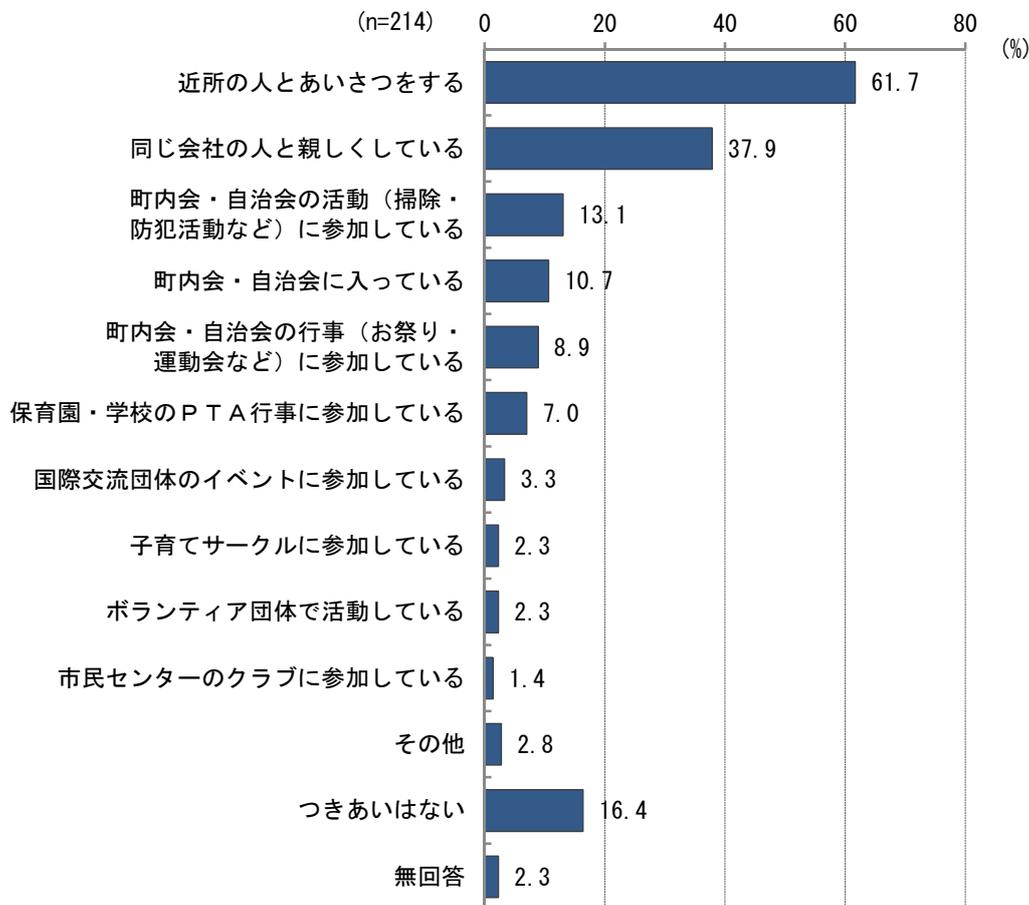
【全体】



生活に必要な情報の入手先について、「家族・親戚」との回答が 50.0%と最も高く、次いで、「インターネット検索」(43.0%)、「職場の人」(31.3%)などの順となっている。

問13 どのようなつきあいがありますか。(〇はいくつでも)

【全体】



つきあいの状況について、「近所の人とあいさつをする」との回答が61.7%と最も高く、次いで、「同じ会社の人と親しくしている」(37.9%)、「町内会・自治会の活動（掃除・防犯活動など）に参加している」(13.1%)などの順となっている。

【年齢別】

年齢別にみると、「近所の人とあいさつをする」との回答は70歳以上で9割超、「同じ会社の人と親しくしている」との回答は40～49歳で約6割と高くなっている。また、「つきあいはない」との回答は18～29歳で約3割となっている。

	近所の人とあいさつをする	町内会・自治会に入っている	町内会・自治会の活動（お祭り・運動会など）に参加している	町内会・自治会の活動（掃除・防犯活動など）に参加している	保育園・学校のPTA行事に参加している	子育てサークルに参加している	市民センターのクラブに参加している	同じ会社の人と親しくしている	ボランティア団体で活動している	国際交流団体のイベントに参加している	その他	つきあいはない	無回答
全体 (n=214)	61.7	10.7	8.9	13.1	7.0	2.3	1.4	37.9	2.3	3.3	2.8	16.4	2.3
18～29歳 (n=88)	44.3	-	1.1	-	-	-	-	37.5	2.3	1.1	3.4	28.4	2.3
30～39歳 (n=52)	65.4	9.6	9.6	13.5	13.5	3.8	1.9	44.2	1.9	5.8	3.8	11.5	1.9
40～49歳 (n=28)	75.0	14.3	17.9	25.0	28.6	10.7	-	57.1	-	3.6	3.6	-	-
50～59歳 (n=16)	81.3	25.0	6.3	12.5	-	-	6.3	31.3	-	6.3	-	6.3	6.3
60～69歳 (n=18)	77.8	27.8	11.1	38.9	-	-	5.6	5.6	11.1	-	-	11.1	5.6
70歳以上 (n=12)	91.7	41.7	41.7	41.7	-	-	-	25.0	-	8.3	-	8.3	-

1位 2位 3位

【居住年数別】

居住年数別にみると、「近所の人とあいさつをする」との回答は20年以上で8割台半ばと高くなっている。また、「つきあいはない」との回答は居住年数が短い人ほど高くなる傾向がみられる。

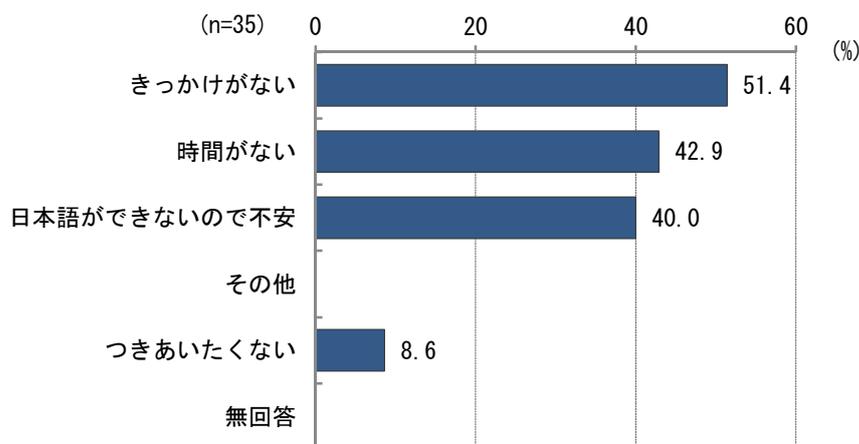
	近所の人とあいさつをする	町内会・自治会に入っている	町内会・自治会の祭り・運動会などに参加している	町内会・自治会の除・防犯活動などに参加している	保育園・学校のPTA行事に参加している	子育てサークルに参加している	市民センターのクラブに参加している	同じ会社の人と親しくしている	ボランティア団体で活動している	国際交流団体のイベントに参加している	その他	つきあいはない	無回答
全体 (n=214)	61.7	10.7	8.9	13.1	7.0	2.3	1.4	37.9	2.3	3.3	2.8	16.4	2.3
居住年数別	1年未満 (n=12)	41.7	8.3	-	8.3	-	-	8.3	16.7	-	-	41.7	8.3
	1年～3年 (n=77)	46.8	-	1.3	2.6	-	1.3	-	39.0	2.6	2.6	26.0	1.3
	4年～6年 (n=32)	40.6	6.3	9.4	12.5	6.3	3.1	3.1	43.8	-	6.3	18.8	3.1
	7年～9年 (n=12)	91.7	-	8.3	16.7	16.7	-	-	50.0	8.3	16.7	-	-
	10年～19年 (n=37)	78.4	10.8	10.8	18.9	21.6	5.4	-	43.2	2.7	2.7	5.4	2.7
20年以上 (n=44)	86.4	36.4	22.7	27.3	6.8	2.3	2.3	29.5	2.3	-	4.5	2.3	

1位
 2位
 3位

問13で「12 つきあいはない」と答えた方に聞きます。

問14 つきあいのない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

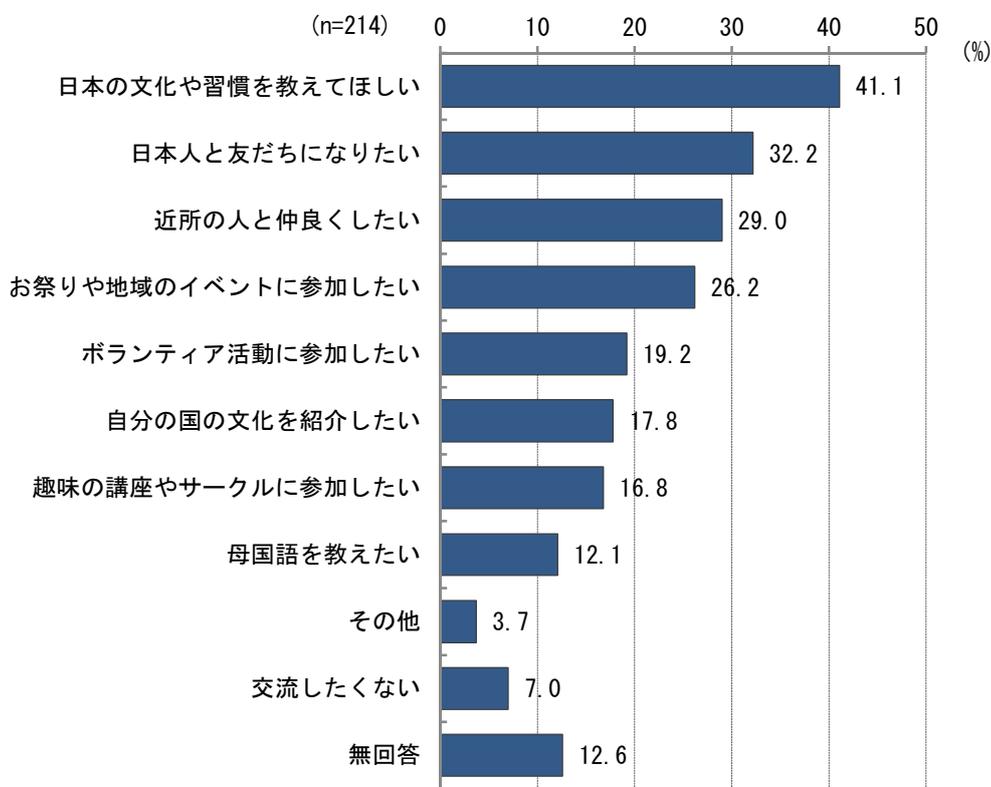
【全体】



つきあいのない理由について、「きっかけがない」との回答が51.4%と最も高く、次いで、「時間がない」(42.9%)、「日本語ができないので不安」(40.0%)などの順となっている。

問 15 どのような交流をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

【全体】

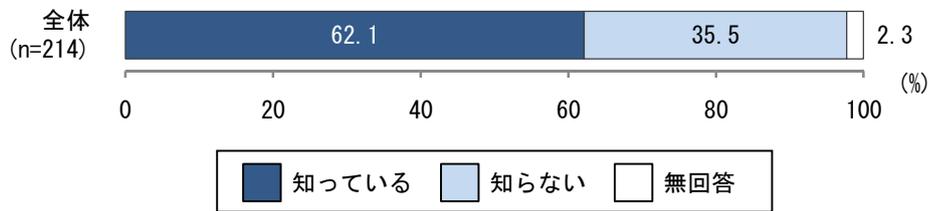


日本人住民との交流について、「日本の文化や習慣を教えてほしい」との回答が41.1%と最も高く、次いで、「日本人と友だちになりたい」(32.2%)、「近所の人と仲良くしたい」(29.0%)などの順となっている。

3 災害・防災について

問 16 地震や津波、大雨、台風や暴風などの災害が起きたときの避難場所（逃げるところ）を知っていますか。（〇は1つ）

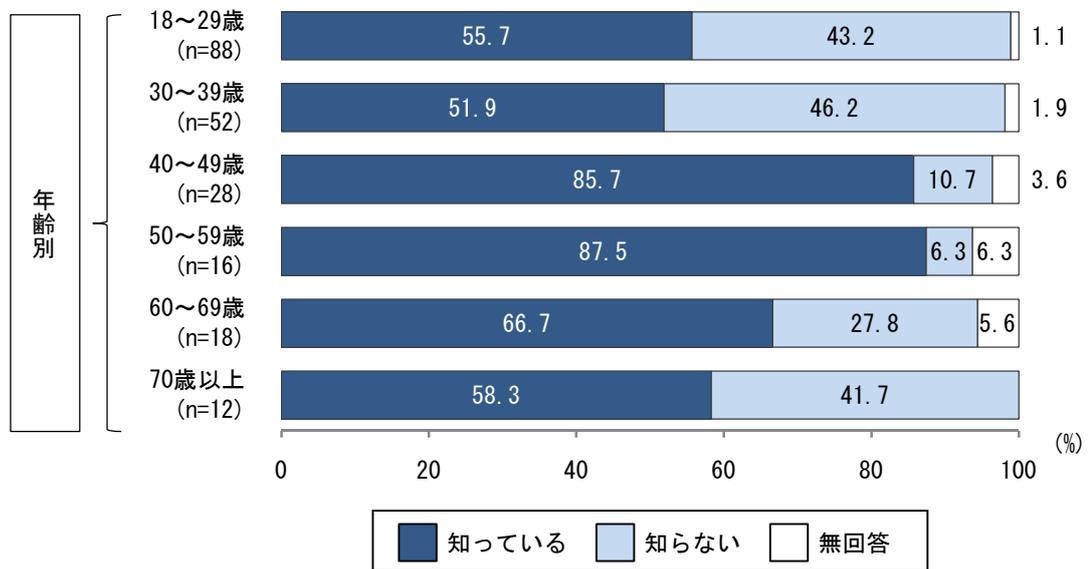
【全体】



避難場所の認知について、「知っている」との回答が 62.1%、「知らない」との回答が 35.5%となっている。

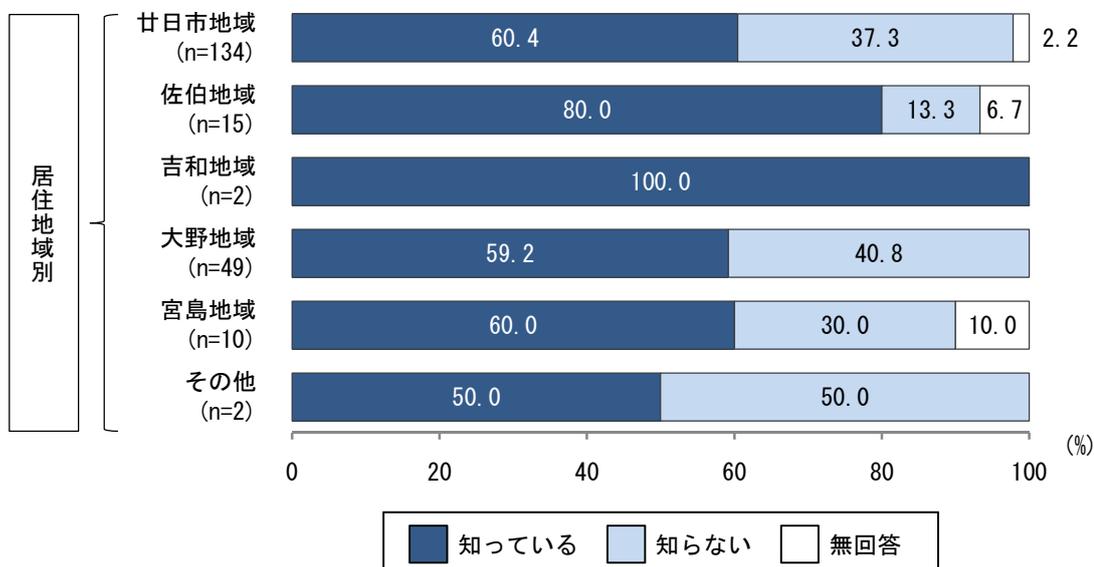
【年齢別】

年齢別にみると、「知っている」との回答は 40～49 歳、50～59 歳で 8 割台半ばと高くなっている。また、「知らない」との回答は 30～39 歳で 4 割台半ばと高くなっている。



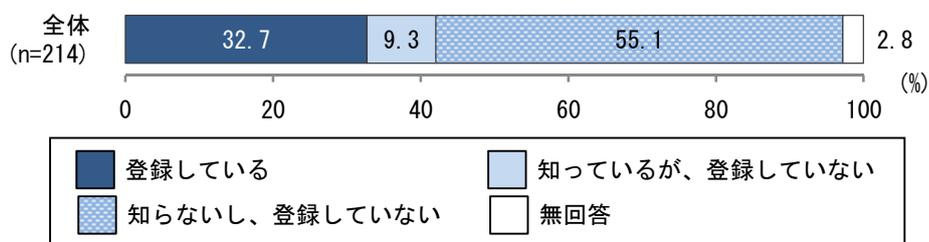
【居住地域別】

居住地域別にみると、「知っている」との回答は佐伯地域で8割と高くなっている。また、「知らない」との回答は大野地域で4割超と高くなっている。



問17 廿日市市が発信している、はつかいちし安全・安心メールに登録していますか。(〇は1つ)

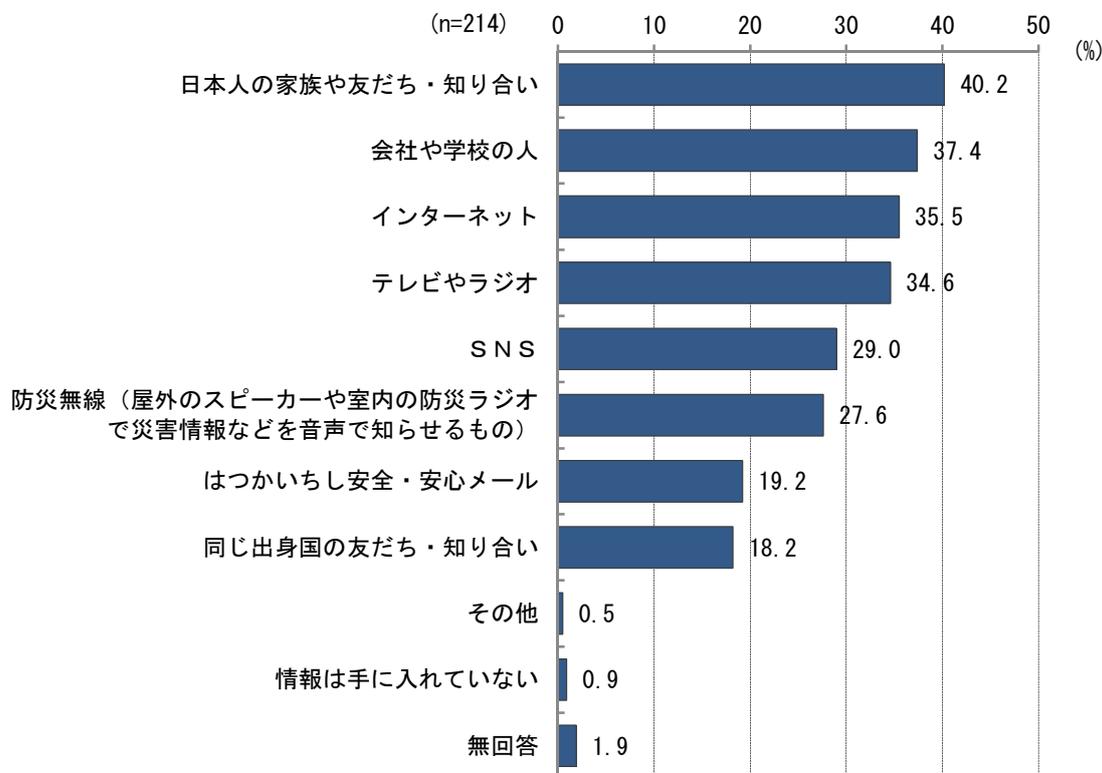
【全体】



はつかいちし安全・安心メールの登録状況について、「知らないし、登録していない」との回答が55.1%と最も高く、次いで、「登録している」(32.7%)、「知っているが、登録していない」(9.3%)などの順となっている。

問 18 災害の情報をどこから・だれから手に入れていますか。(〇はいくつでも)

【全体】



災害情報の入手先について、「日本人の家族や友だち・知り合い」との回答が40.2%と最も高く、次いで、「会社や学校の人」(37.4%)、「インターネット」(35.5%)などの順となっている。

【年齢別】

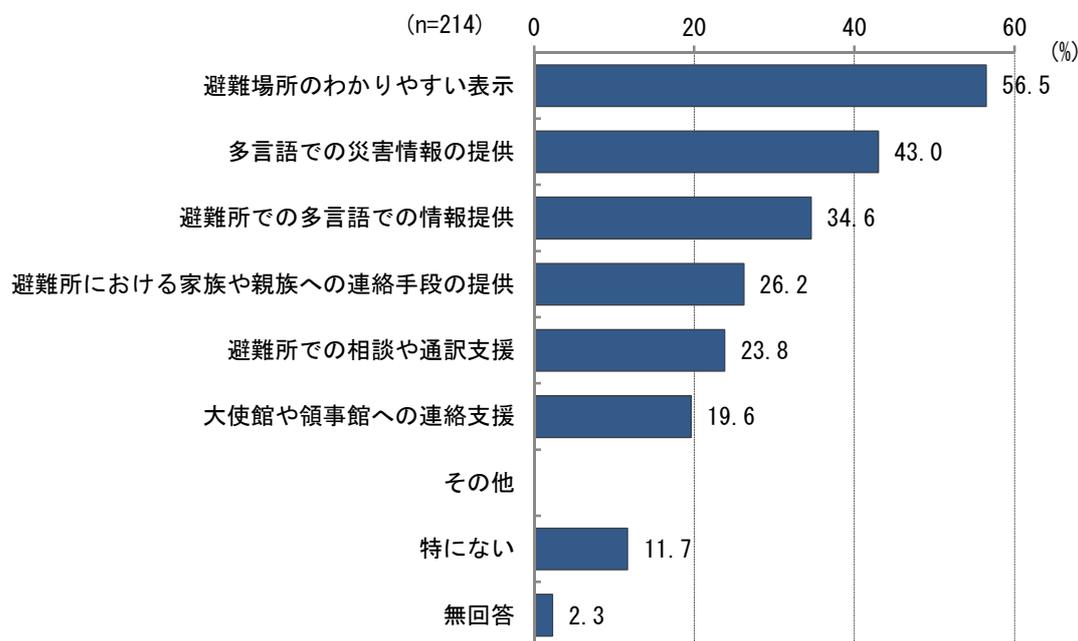
年齢別にみると、「会社や学校の人」との回答は18～29歳で5割、「テレビやラジオ」との回答は70歳以上で7割台半ば、「SNS」との回答は18～29歳で約4割と高くなっている。

年齢別	日本人の家族や友だち・知り合い	同じ出身国の友だち・知り合い	会社や学校の人	テレビやラジオ	インターネット	SNS	はつかいちし安全・安心メール	防災無線 (屋外のスピーカーや室内の防災ラジオで災害情報などを音声で知らせるもの)	その他	情報は手に入っていない	無回答
全体 (n=214)	40.2	18.2	37.4	34.6	35.5	29.0	19.2	27.6	0.5	0.9	1.9
18～29歳 (n=88)	22.7	14.8	50.0	13.6	30.7	39.8	19.3	23.9	-	1.1	-
30～39歳 (n=52)	46.2	23.1	40.4	42.3	42.3	28.8	15.4	28.8	-	1.9	1.9
40～49歳 (n=28)	57.1	14.3	39.3	53.6	46.4	21.4	39.3	35.7	3.6	-	-
50～59歳 (n=16)	75.0	18.8	12.5	37.5	25.0	18.8	12.5	25.0	-	-	6.3
60～69歳 (n=18)	44.4	27.8	5.6	55.6	44.4	11.1	5.6	27.8	-	-	5.6
70歳以上 (n=12)	50.0	16.7	8.3	75.0	16.7	8.3	16.7	33.3	-	-	8.3

1位 (ピンク) 2位 (オレンジ) 3位 (紫)

問 19 災害が起きたときに、どのような助けが必要ですか。(〇はいくつでも)

【全体】



災害が起きたときの必要な助けについて、「避難場所のわかりやすい表示」との回答が 56.5%と最も高く、次いで、「多言語での災害情報の提供」(43.0%)、「避難所での多言語での情報提供」(34.6%)などの順となっている。

【年齢別】

年齢別にみると、すべての年齢で「避難場所のわかりやすい表示」との回答が高くなっている。また、「避難所における家族や親族への連絡手段の提供」との回答は 40～49 歳で 4 割台半ばと高くなっている。

	避難場所のわかりやすい表示	多言語での災害情報の提供	避難所における家族や親族への連絡手段の提供	避難所での多言語での情報提供	避難所での相談や通訳支援	大使館や領事館への連絡支援	その他	特にない	無回答
全体 (n=214)	56.5	43.0	26.2	34.6	23.8	19.6	-	11.7	2.3
18～29歳 (n=88)	64.8	47.7	22.7	34.1	20.5	19.3	-	2.3	-
30～39歳 (n=52)	48.1	44.2	28.8	32.7	19.2	19.2	-	17.3	1.9
40～49歳 (n=28)	53.6	42.9	46.4	42.9	46.4	39.3	-	14.3	3.6
50～59歳 (n=16)	50.0	43.8	25.0	43.8	18.8	6.3	-	12.5	12.5
60～69歳 (n=18)	61.1	33.3	16.7	44.4	11.1	11.1	-	27.8	-
70歳以上 (n=12)	41.7	16.7	8.3	-	41.7	8.3	-	25.0	8.3

1位 (ピンク) 2位 (オレンジ) 3位 (紫)

4 医療について

問 20 廿日市市に住んでから、自分や家族が病気やケガで、病院を利用したことがありますか。

(○は1つ)

【全体】

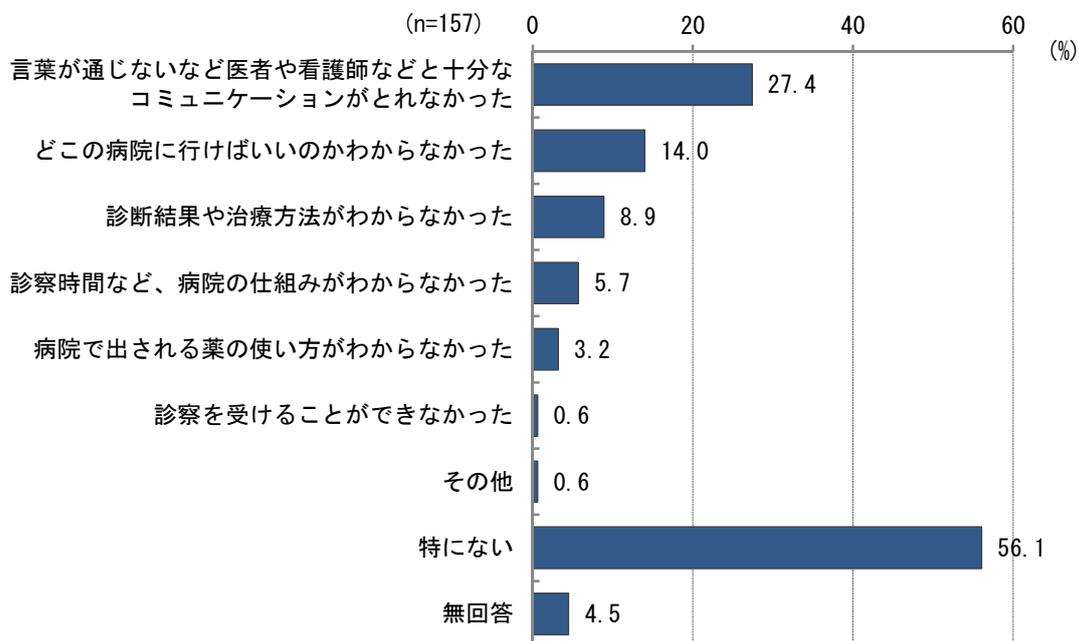


病院の利用状況について、「利用したことがある」との回答が73.4%、「利用したことはない」との回答が25.7%となっている。

問 20 で「1 利用したことがある」答えた方に聞きます。

問 21 病院を利用した時に困ったことはありませんでしたか。(○はいくつでも)

【全体】

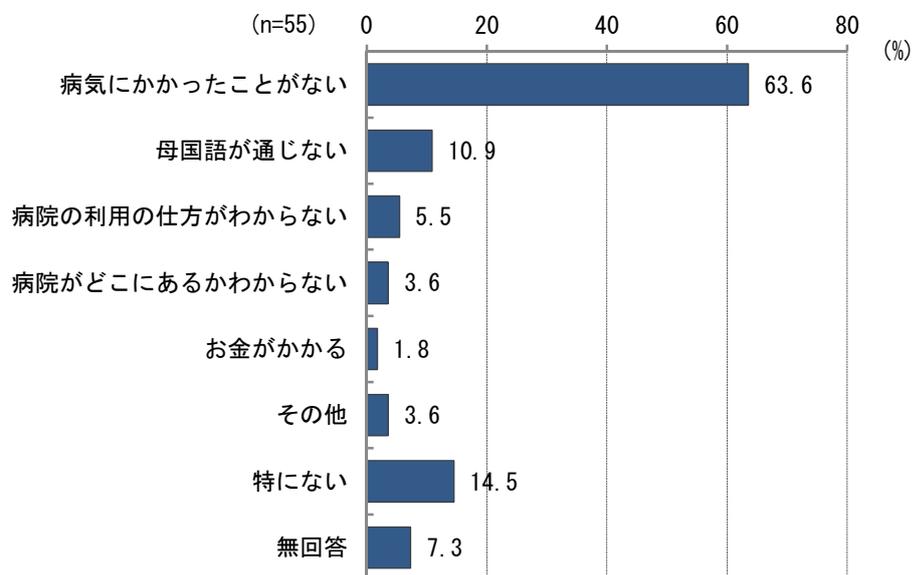


病院を利用した際の困りごとについて、「言葉が通じないなど医者や看護師などと十分なコミュニケーションがとれなかった」との回答が27.4%と高く、次いで、「どこの病院に行けばいいのかわからなかった」(14.0%)、「診断結果や治療方法がわからなかった」(8.9%)などの順となっている。また、「特にない」との回答も56.1%と高くなっている。

問 20 で「2 利用したことがない」 答えた方に聞きます。

問 22 病院を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【全体】

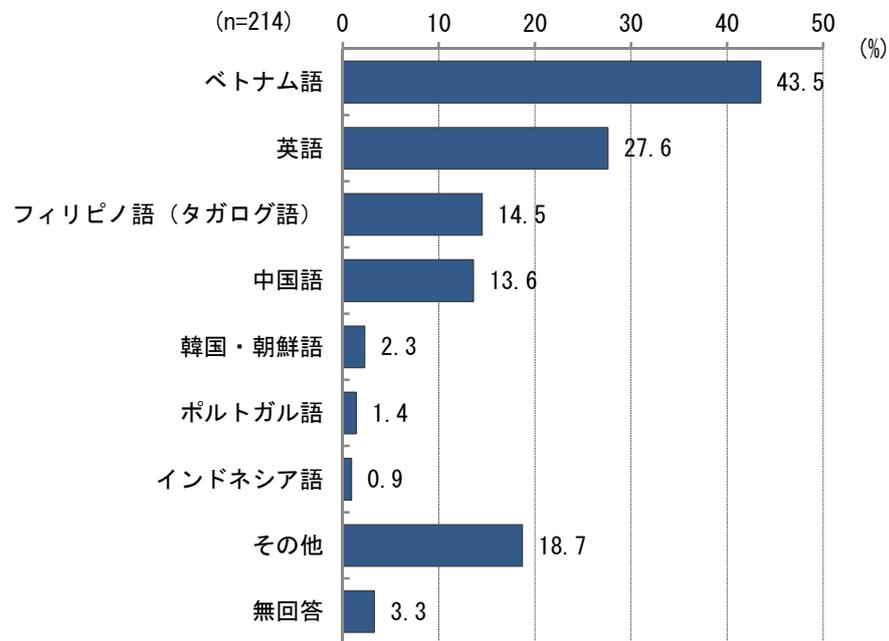


病院を利用しない理由について、「病気にかかったことがない」との回答が 63.6%と最も高く、次いで、「母国語が通じない」(10.9%)、「病院の利用の仕方がわからない」(5.5%) などの順となっている。

5 言葉について

問 23 よくわかる言葉は何語ですか。(〇はいくつでも)

【全体】

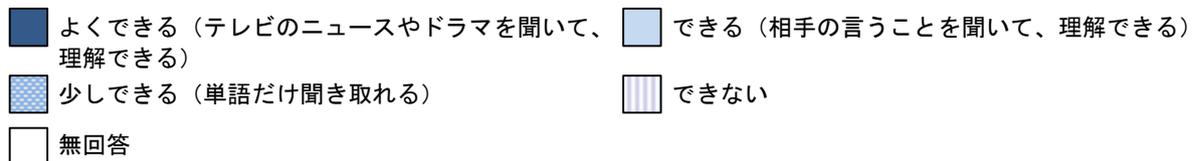
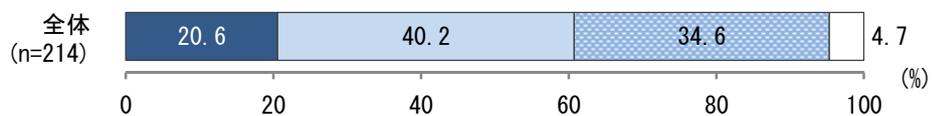


よくわかる言語について、「ベトナム語」との回答が 43.5%と最も高く、次いで、「英語」(27.6%)、「フィリピン語 (タガログ語)」(14.5%) などの順となっている。

問 24 日本語はどのくらい使うことができますか。(それぞれ 1 つに〇)

①聞く

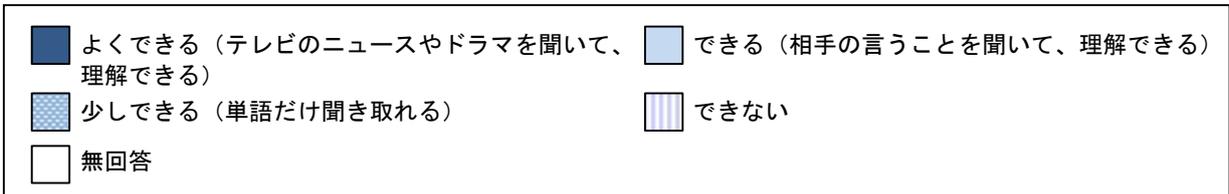
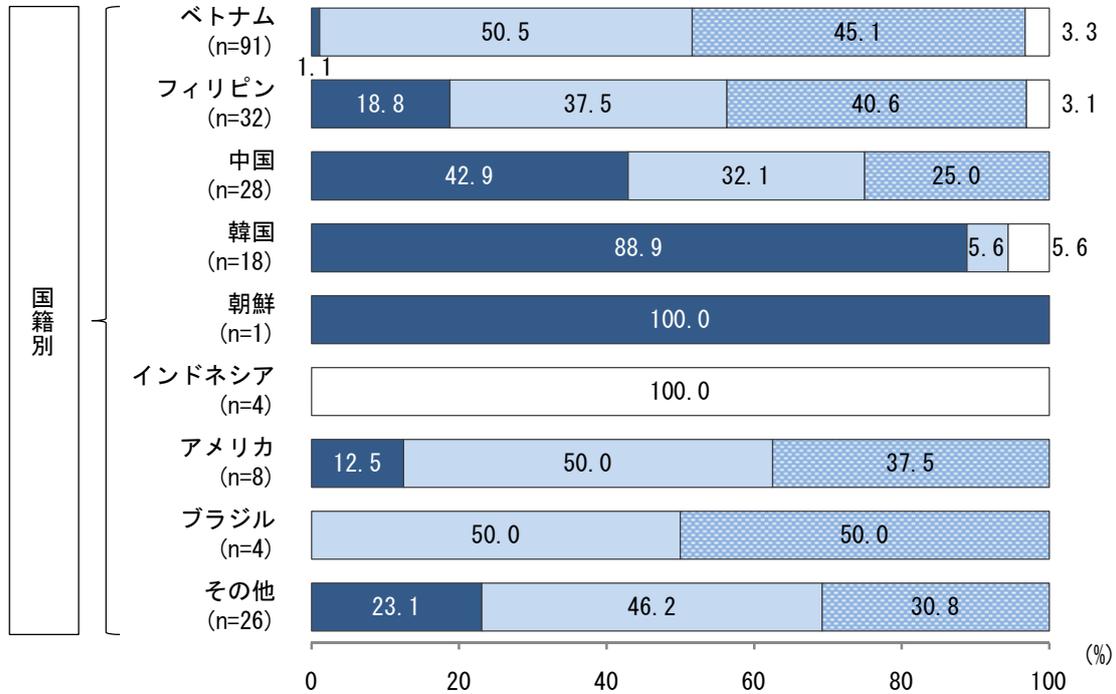
【全体】



日本語を聞くことについて、「できる (相手の言うことを聞いて、理解できる)」との回答が 40.2%と最も高く、次いで、「少しできる (単語だけ聞き取れる)」(34.6%)、「よくできる (テレビのニュースやドラマを聞いて、理解できる)」(20.6%) などの順となっている。

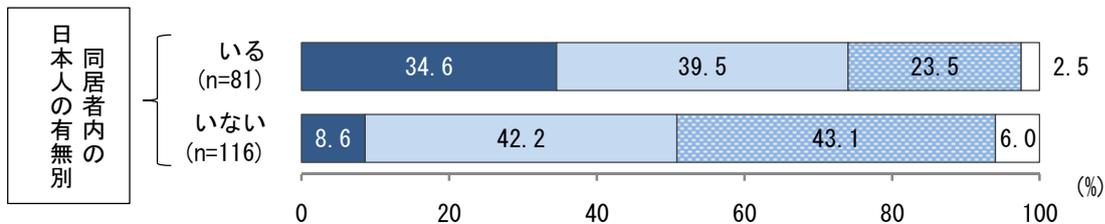
【国籍別】

国籍別にみると、「よくできる（テレビのニュースやドラマを聞いて、理解できる）」との回答は韓国で約9割と高くなっている。また、「少しできる（単語だけ聞き取れる）」との回答はブラジルで5割と高くなっている。



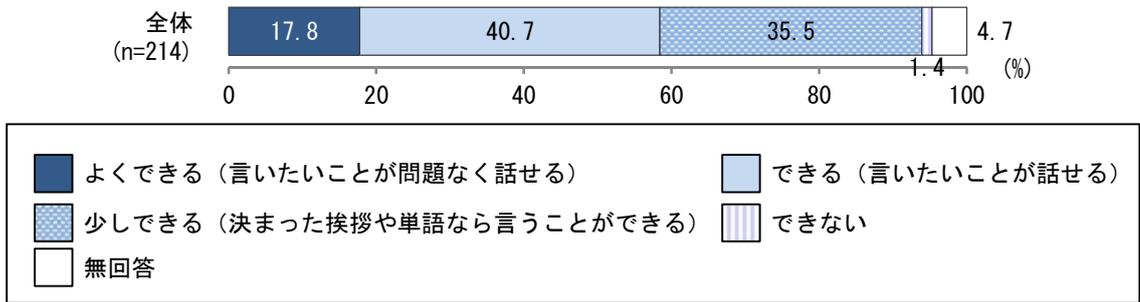
【同居者内の日本人の有無別】

同居者内の日本人の有無別にみると、「よくできる（テレビのニュースやドラマを聞いて、理解できる）」との回答はいる（34.6%）がいない（8.6%）を26.0ポイント上回っている。



②話す

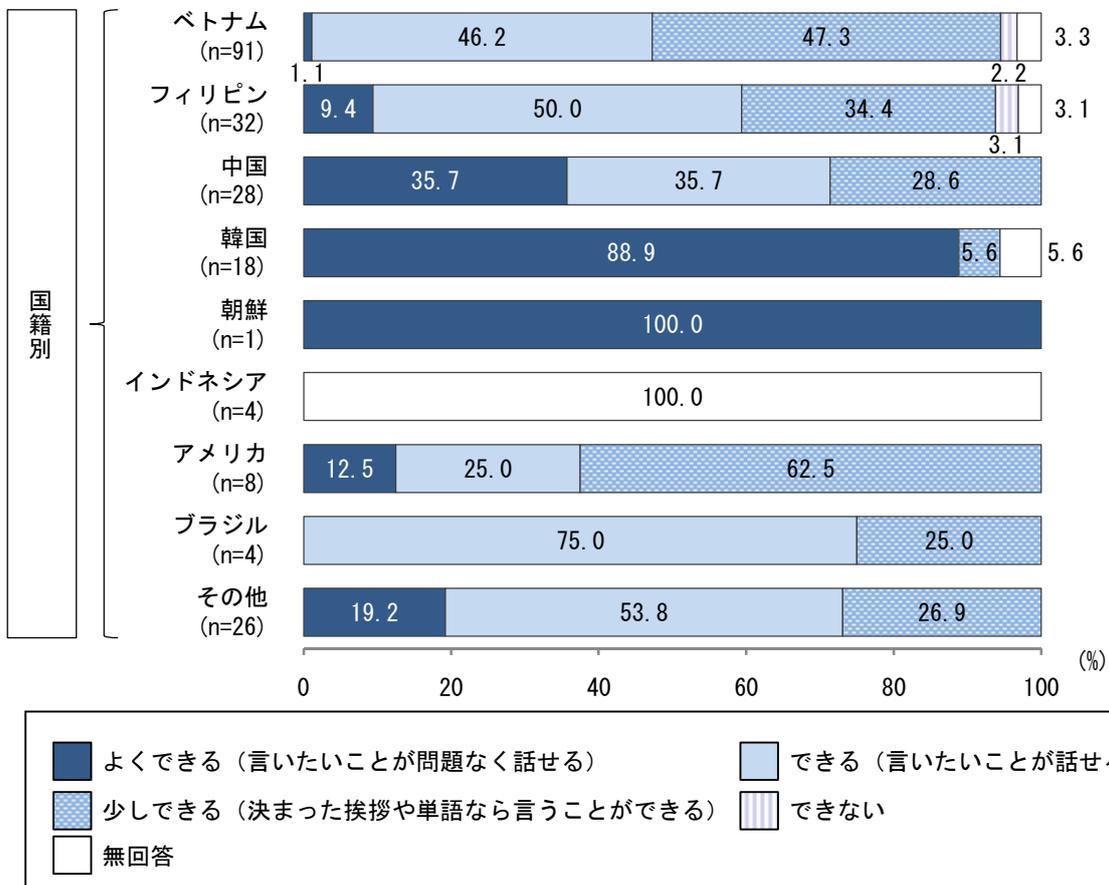
【全体】



日本語を話すことについて、「できる (言いたいことが話せる)」との回答が40.7%と最も高く、次いで、「少しできる (決まった挨拶や単語なら言うことができる)」(35.5%)、「よくできる (言いたいことが問題なく話せる)」(17.8%)などの順となっている。

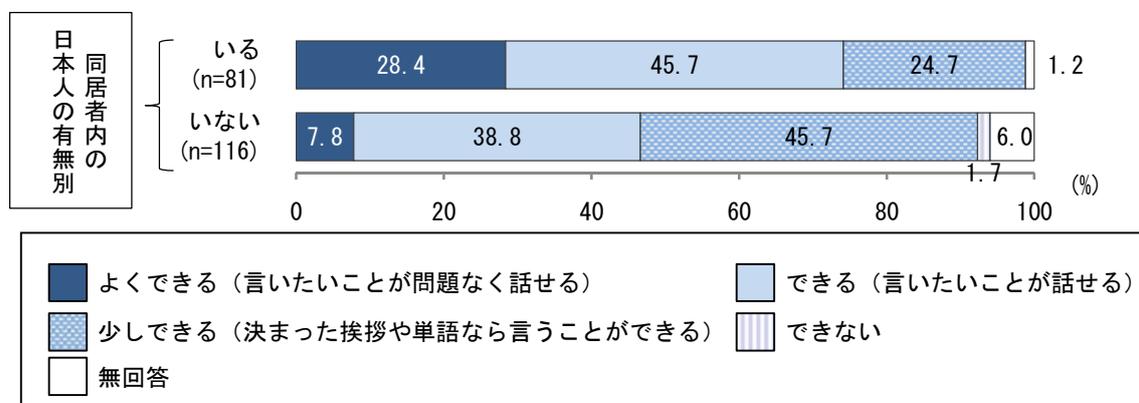
【国籍別】

国籍別にみると、「よくできる (言いたいことが問題なく話せる)」との回答は韓国で約9割と高くなっている。また、「少しできる (決まった挨拶や単語なら言うことができる)」との回答はアメリカで6割超と高くなっている。



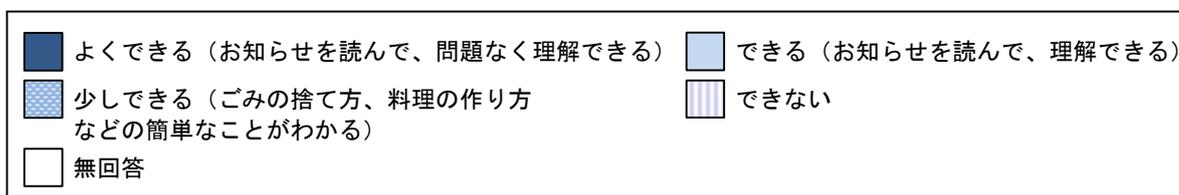
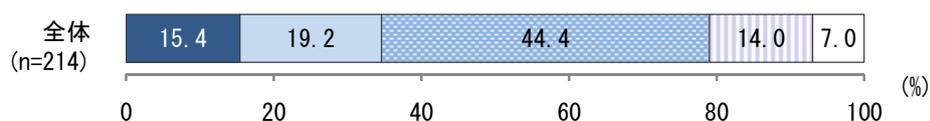
【同居者内の日本人の有無別】

同居者内の日本人の有無別にみると、「よくできる（言いたいことが問題なく話せる）」との回答はいる（28.4%）がいない（7.8%）を20.6ポイント上回っている。



③読む

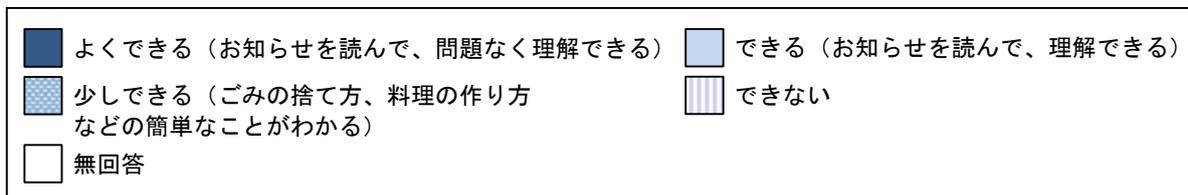
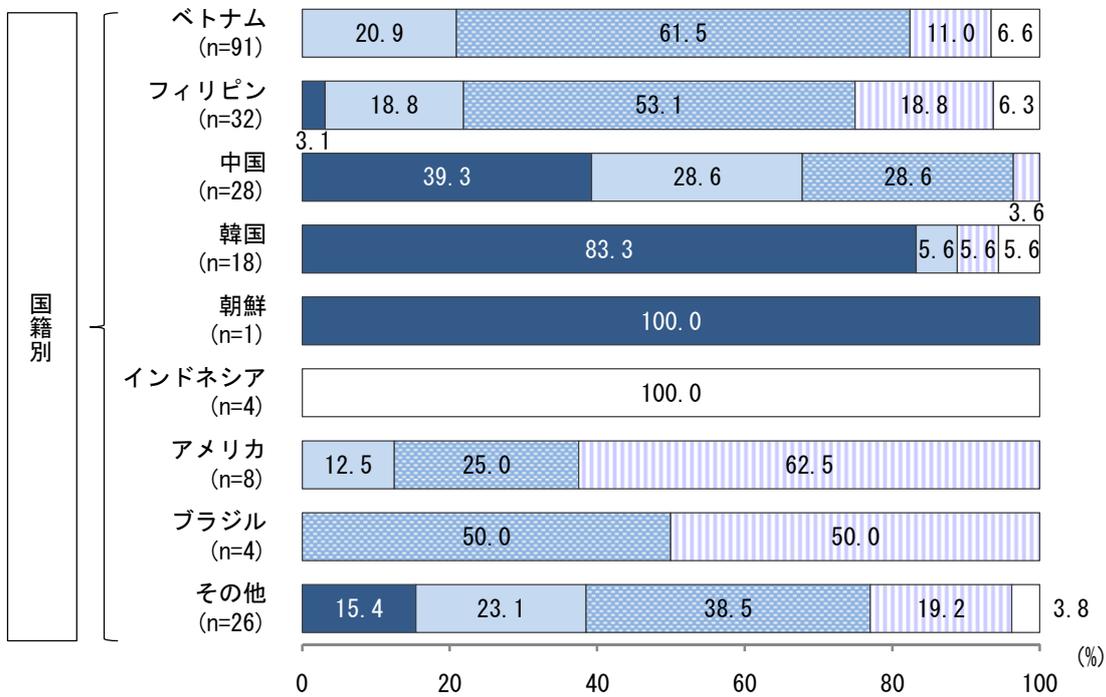
【全体】



日本語を読むことについて、「少しできる（ごみの捨て方、料理の作り方などの簡単なことがわかる）」との回答が44.4%と最も高く、次いで、「できる（お知らせを読んで、理解できる）」（19.2%）、「よくできる（お知らせを読んで、問題なく理解できる）」（15.4%）などの順となっている。

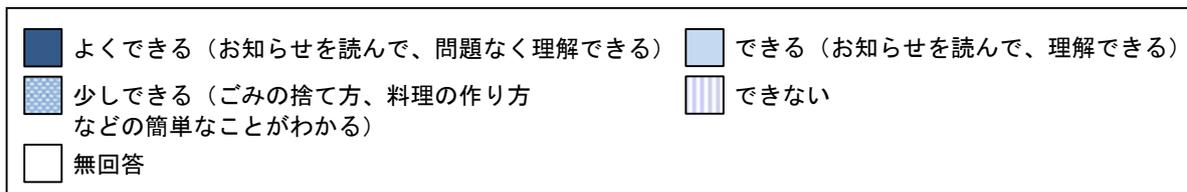
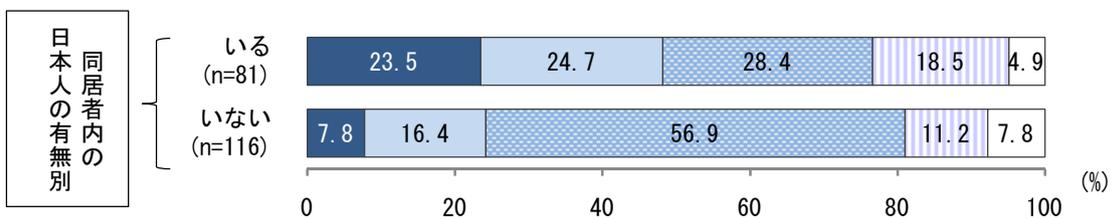
【国籍別】

国籍別にみると、「よくできる（お知らせを読んで、問題なく理解できる）」との回答は韓国で8割台半ばと高くなっている。また、「できない」との回答はアメリカで6割超と高くなっている。



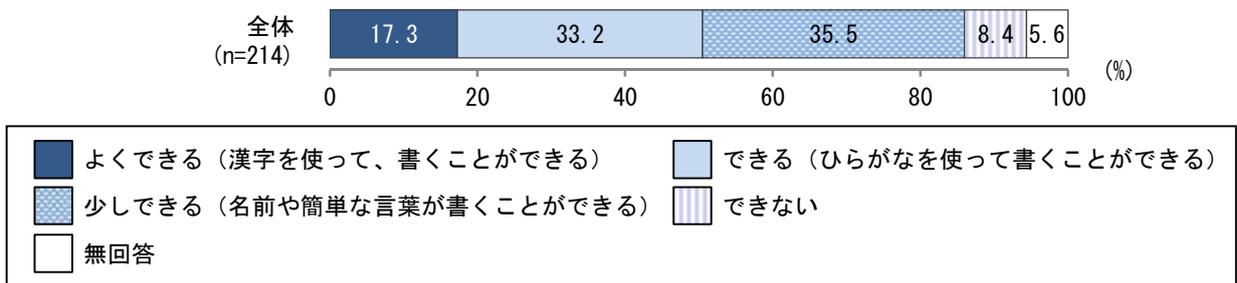
【同居者内の日本人の有無別】

同居者内の日本人の有無別にみると、「よくできる（お知らせを読んで、問題なく理解できる）」との回答はいる (23.5%) がいない (7.8%) を 15.7 ポイント上回っている。



④書く

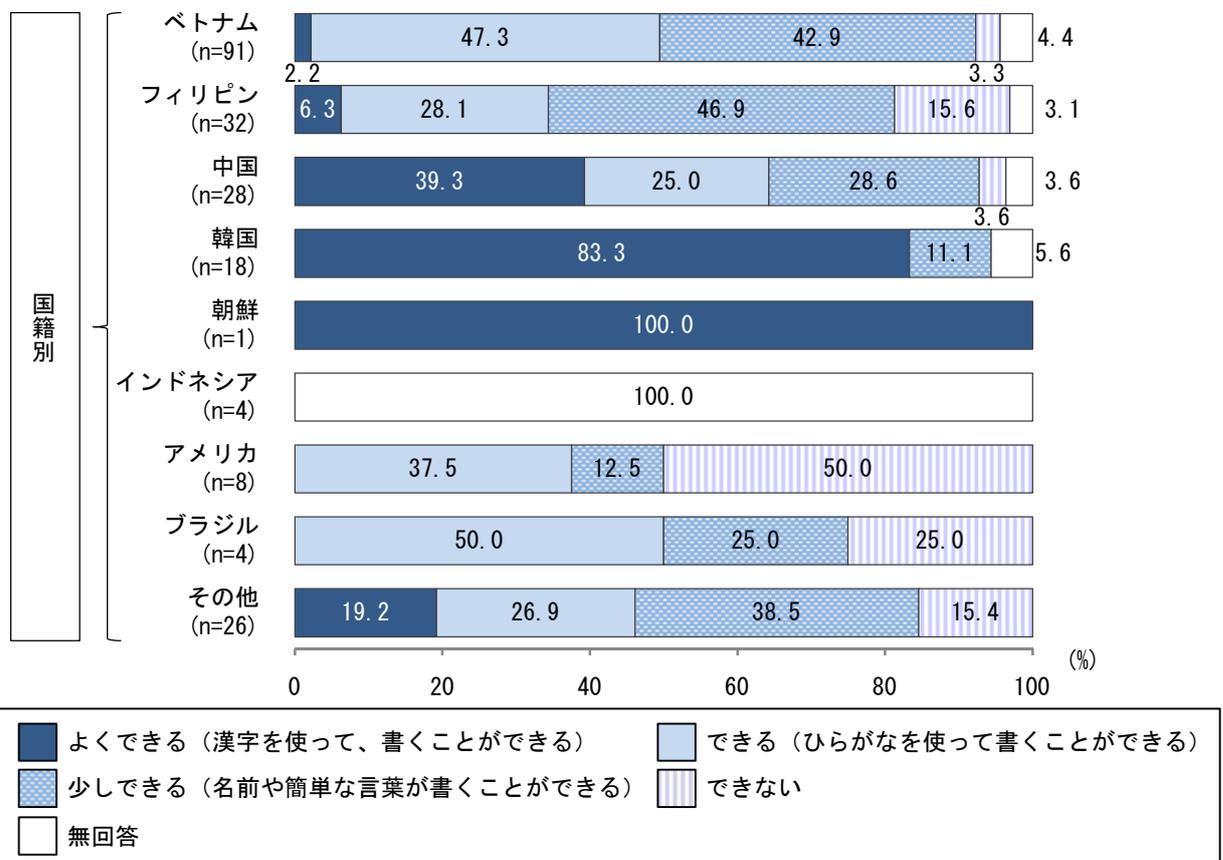
【全体】



日本語を書くことについて、「少しできる (名前や簡単な言葉が書くことができる)」との回答が35.5%と最も高く、次いで、「できる (ひらがなを使って書くことができる)」(33.2%)、「よくできる (漢字を使って、書くことができる)」(17.3%) などの順となっている。

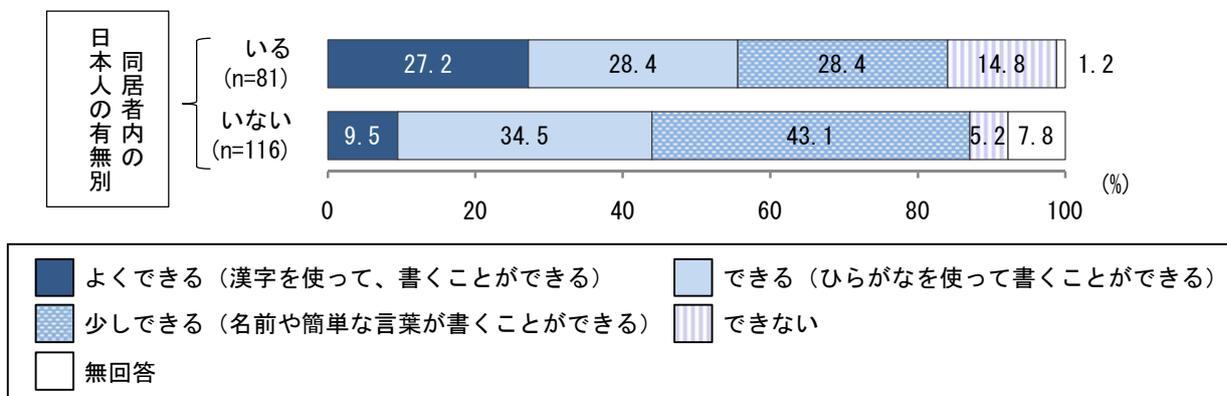
【国籍別】

国籍別にみると、「よくできる (漢字を使って、書くことができる)」との回答は韓国で8割台半ばと高くなっている。また、「できない」との回答はアメリカで5割と高くなっている。



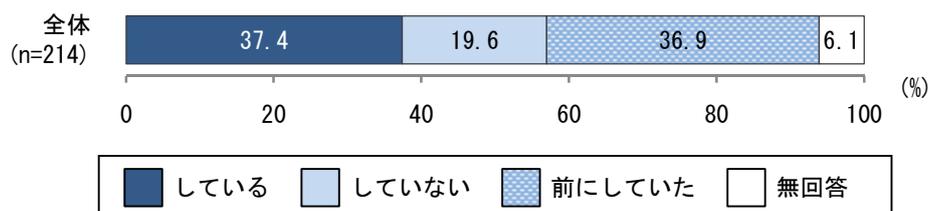
【同居者内の日本人の有無別】

同居者内の日本人の有無別にみると、「よくできる（漢字を使って、書くことができる）」との回答はいる（27.2%）がいない（9.5%）を17.7ポイント上回っている。



問 25 日本語を学習していますか。(○は1つ)

【全体】

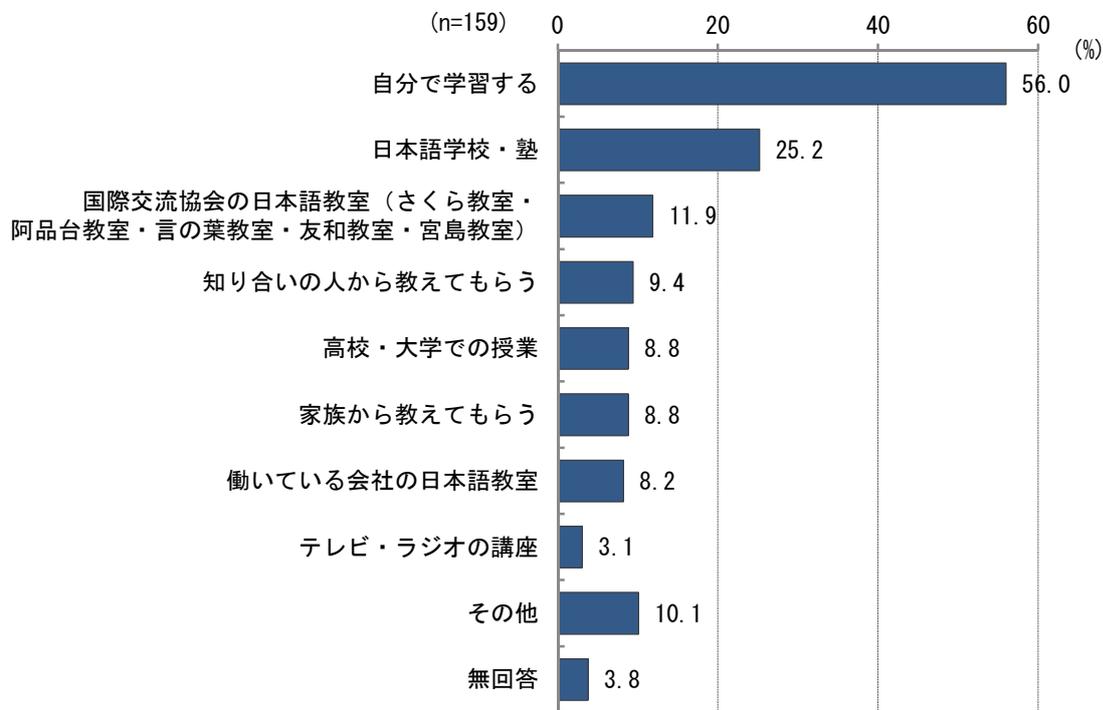


日本語学習の有無について、「している」との回答が37.4%と最も高く、次いで、「前にしていた」(36.9%)、「していない」(19.6%)などの順となっている。

問 25 で「1 している」、「3 前にしていた」と答えた方に聞きます。

問 26 どこで日本語を学習していますか。また、していましたか。(〇はいくつでも)

【全体】

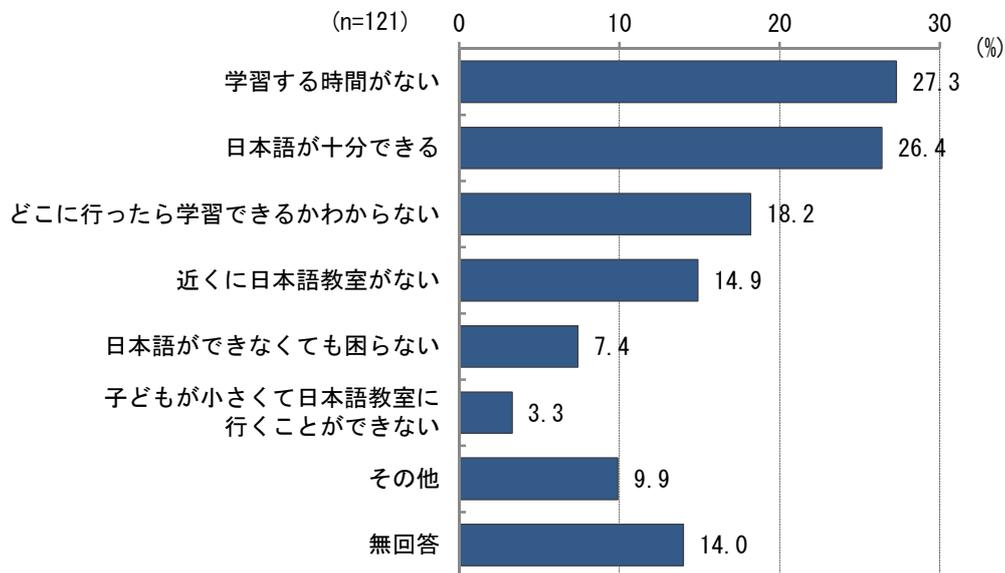


日本語学習場所について、「自分で学習する」との回答が 56.0%と最も高く、次いで、「日本語学校・塾」(25.2%)、「国際交流協会の日本語教室 (さくら教室・阿品台教室・言の葉教室・友和教室・宮島教室)」(11.9%) などの順となっている。

問 25 で「2 していない」、「3 前にしていた」と答えた方に聞きます。

問 27 日本語を学習していないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

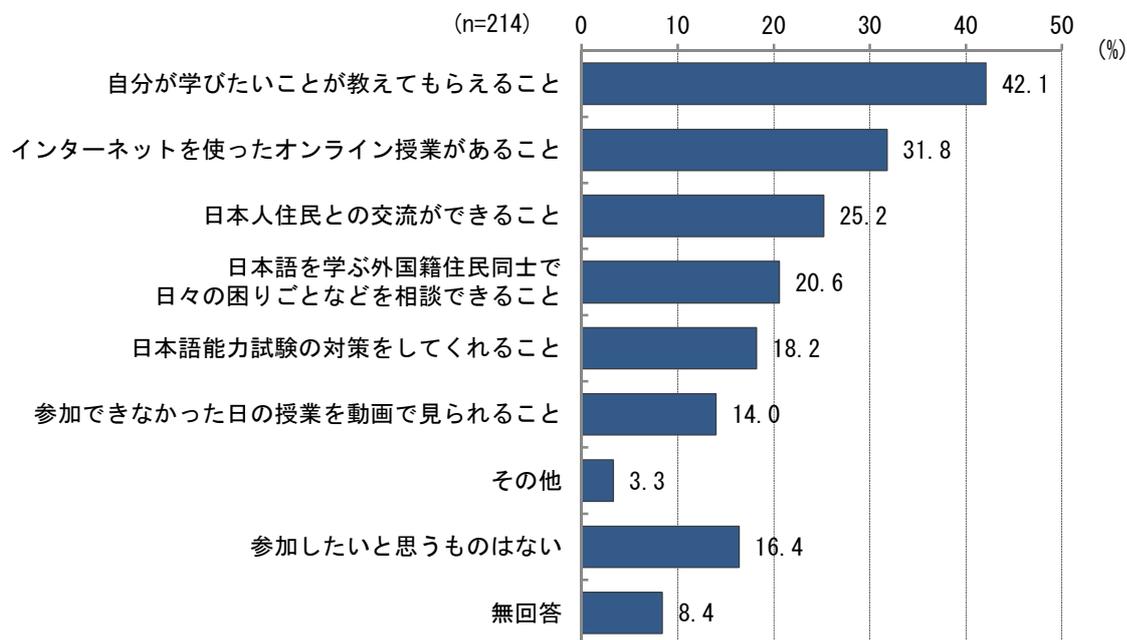
【全体】



日本語を学習していない理由について、「学習する時間がない」との回答が 27.3%と最も高く、次いで、「日本語が十分できる」(26.4%)、「どこに行ったら学習できるかわからない」(18.2%)などの順となっている。

問 28 どのような日本語教室であれば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

【全体】



参加したい日本語教室について、「自分が学びたいことが教えてもらえること」との回答が 42.1% と最も高く、次いで、「インターネットを使ったオンライン授業があること」(31.8%)、「日本人住民との交流ができること」(25.2%) などの順となっている。

問 29 日本語教室や交流行事に参加するなら、どの時間がいいですか。(〇はいくつでも)

【全体】

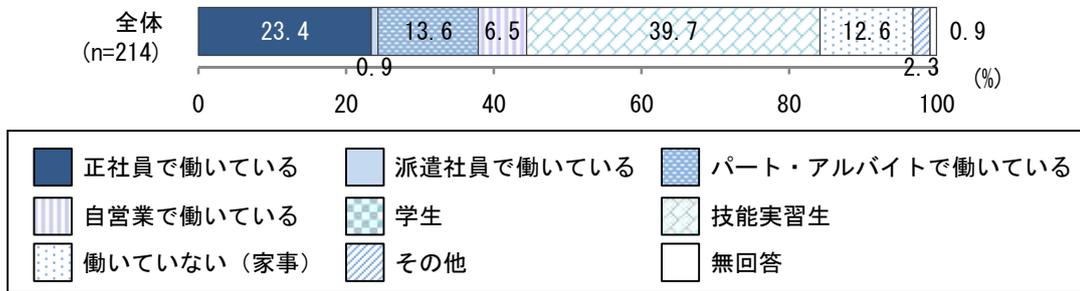


日本語教室や交流行事に参加したい時間帯について、「月～金曜日の夜」との回答が22.0%と最も高く、次いで、「日曜日の午前」(18.7%)、「日曜日の午後」(14.0%)などの順となっている。

6 仕事について

問30 現在の仕事について教えてください。(○は1つ)

【全体】

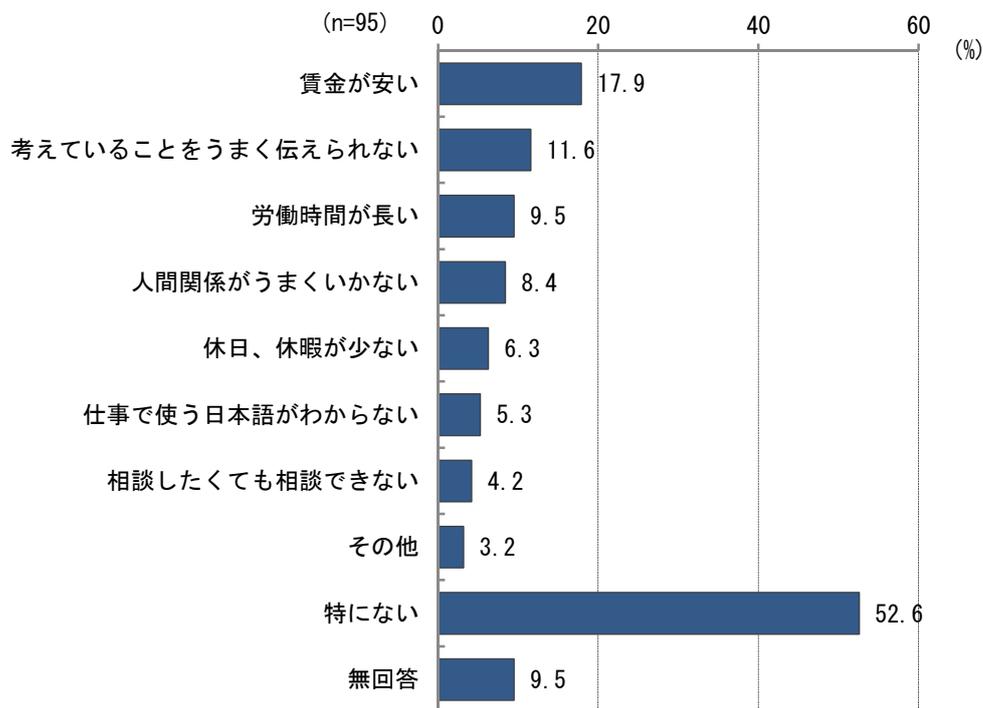


就労状況について、「技能実習生」との回答が39.7%と最も高く、次いで、「正社員で働いている」(23.4%)、「パート・アルバイトで働いている」(13.6%)などの順となっている。

問30 で働いていると答えた方に聞きます。

問31 仕事への不満がありますか。(○はいくつでも)

【全体】

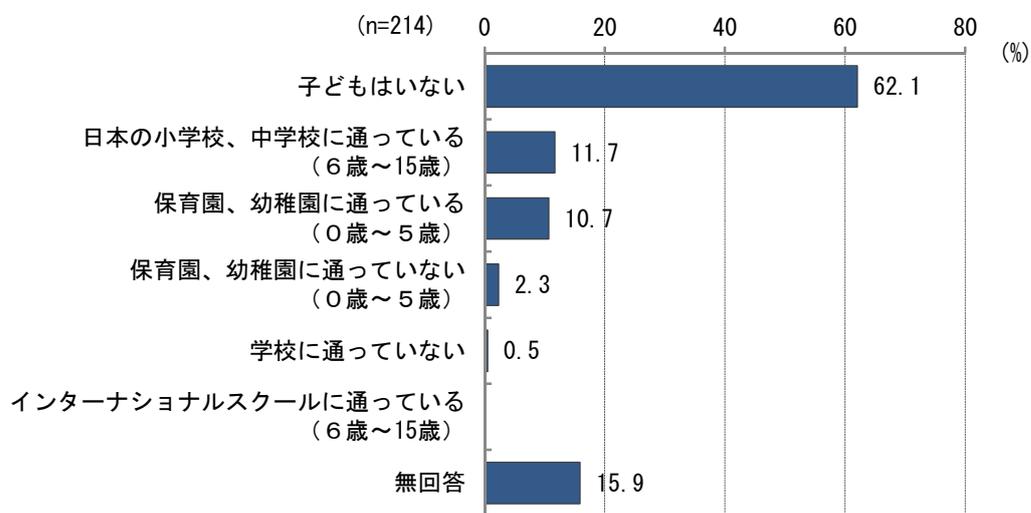


仕事への不満について、「賃金が安い」との回答が17.9%と高く、次いで、「考えていることをうまく伝えられない」(11.6%)、「労働時間が長い」(9.5%)などの順となっている。また、「特にない」との回答も52.6%と高くなっている。

7 子育て・教育について

問32 いっしょに住んでいる子ども（16歳未満）はいますか。（〇はいくつでも）

【全体】

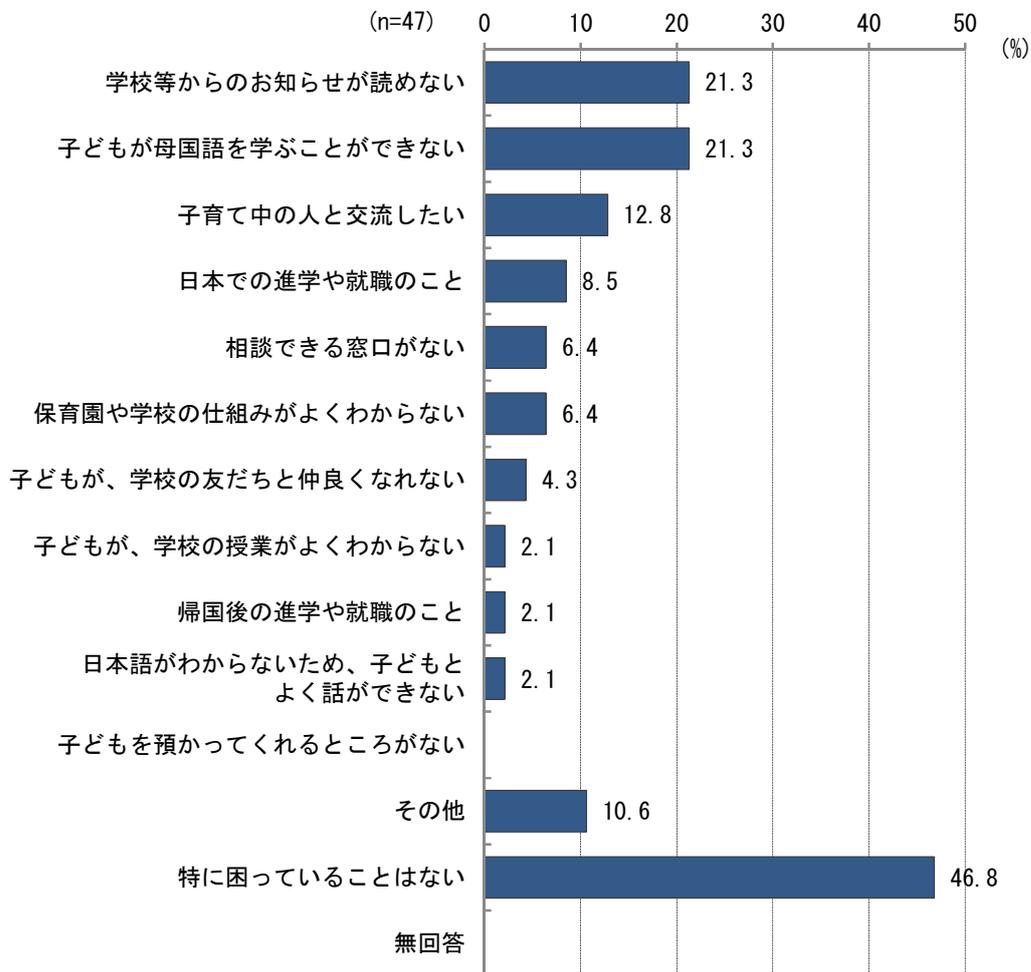


同居している子どもについて、「子どもはいない」との回答が62.1%と最も高く、次いで、「日本の小学校、中学校に通っている（6歳～15歳）」（11.7%）、「保育園、幼稚園に通っている（0歳～5歳）」（10.7%）などの順となっている。

問 32 で 1 ～ 5 と答えた方に聞きます。

問 33 子育てや教育のことで心配なことや困っていることはありますか。(○はいくつでも)

【全体】

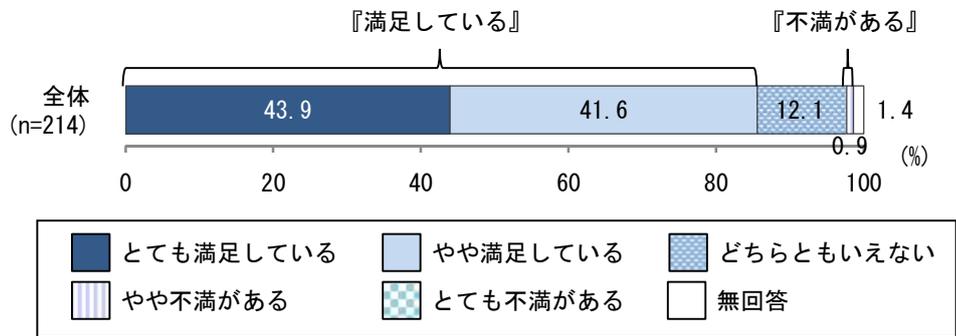


子育てや教育で心配なことや困りごとについて、「学校等からのお知らせが読めない」、「子どもが母国語を学ぶことができない」との回答がともに 21.3%と高く、次いで、「子育て中の人と交流したい」(12.8%)、「日本での進学や就職のこと」(8.5%)などの順となっている。また、「特に困っていることはない」との回答も 46.8%と高くなっている。

8 住みやすいまちについて

問34 あなたは、廿日市市での生活に満足していますか。(○は1つ)

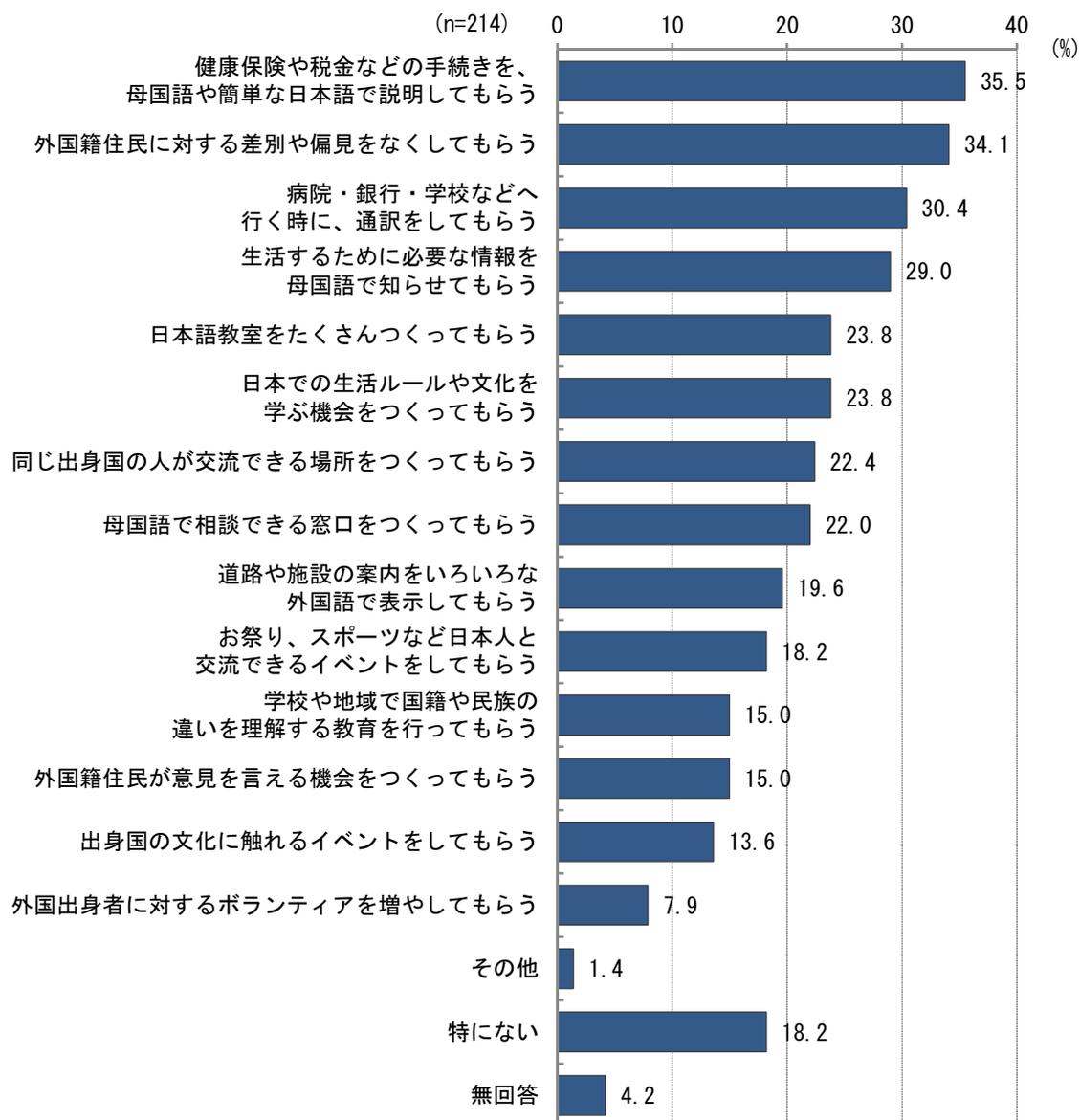
【全体】



廿日市市での生活の満足度について、『満足している』（「とても満足している」と「やや満足している」を合わせた割合）との回答が85.5%、『不満がある』（「やや不満がある」と「とても不満がある」を合わせた割合）との回答が0.9%となっている。

問 35 どのようなことをしてもらったら、もっと住みやすくなると思いますか。(〇はいくつでも)

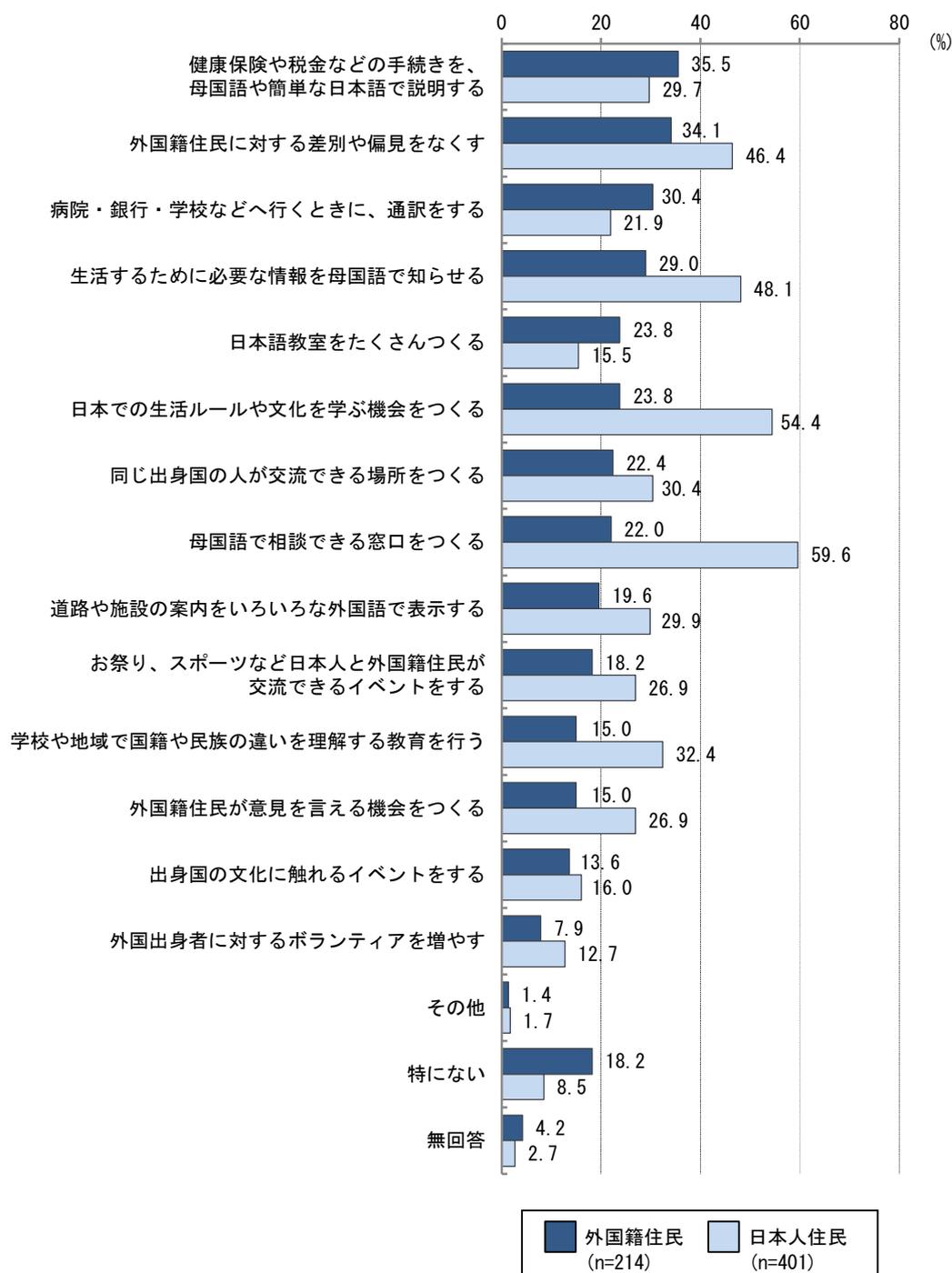
【全体】



住みやすくするための取り組みについて、「健康保険や税金などの手続きを、母国語や簡単な日本語で説明してもらう」との回答が 35.5%と最も高く、次いで、「外国籍住民に対する差別や偏見をなくしてもらう」(34.1%)、「病院・銀行・学校などへ行く時に、通訳をもらう」(30.4%) などの順となっている。

【回答者属性別】

回答者属性別にみると、「母国語で相談できる窓口をつくる」との回答は外国籍住民（22.0%）が日本人住民（59.6%）を37.6ポイント、「日本での生活ルールや文化を学ぶ機会をつくる」との回答は外国籍住民（23.8%）が日本人住民（54.4%）を30.6ポイント下回っている。



問 36 外国籍住民がもっと住みやすいまちにするためにあなたの考えを自由に書いてください。

【全体】

(件)

	分類	件数
(1)	コミュニケーション（異文化理解、交流等）について	15
(2)	教育・言語学習について	15
(3)	情報の多言語化について	13
(4)	労働条件について	4
(5)	差別・偏見について	9
(6)	入管・参政権について	4
(7)	行政・市に対する要望について	13
(8)	その他の意見	21

自由記述について、「コミュニケーション（異文化理解、交流等）について」との回答が 15 件と最も高く、次いで、「教育・言語学習について」（15 件）、「情報の多言語化について」（13 件）などの順となっている。

（1）コミュニケーション（異文化理解、交流等）について（15 件）

1	住んでいる地域のイベントやボランティアに参加し日本人と交流したいです。必要としている人々のために、特に献血をしたいです。廿日市市の行政はとても親切で好意的ですが、ベトナム語でよりわかりやすく説明をすることを私が行いたいです。 (ベトナム、20～29 歳)
2	日本語を母国語とする人ともっと話す機会がほしいです。 (その他、50～59 歳)
3	日本人にしてほしいことは、外国のそれぞれの文化や考え方を理解され、受け入れることです。 (ベトナム、30～39 歳)

（2）教育・言語学習について（15 件）

1	私は日本語教室に参加したいのですが、私の地域の近くでは開かれていません。もし、外国人のプログラムがあれば、参加したいです。また、お祭りや地元イベントがあれば参加したいです。日本におけるルールや決まりをすべて学びたいと思っています。 (その他、20～29 歳)
2	漢字、ひらがな、カタカナを勉強したいです。生活、仕事、市役所、会社や学校において、英語または母国語の通訳があればありがたいです。 (フィリピン、40～49 歳)
3	日本語を勉強したいが教えてくれる日本語センターがとても少ないです。企業や組合に圧力をかけられている技能実習生を支援してほしいです。 (ベトナム、20～29 歳)

(3) 情報の多言語化について (13件)

1	市役所が、書類、情報、住民税・健康保険・年金の請求書などを送るときに、私たちが理解できるように、翻訳済みであることを希望いたします。ありがとうございます。 (フィリピン、40～49歳)
2	自宅に届く通知やメールなど、また様々な場所(病院、学校、道路など)に記載されている案内/情報を英語に翻訳してください。 (フィリピン、30～39歳)
3	外国籍住民や、旅行者両方を助けるために、少なくとも世界共通言語である英語で避難所では適切な表示がされるべきです。旅行者のために、バス停では目的地や時刻表を英語や他の言語で掲示するべきです。廿日市自動車学校に、外国人のために英語での運転免許コースがあればいいなと思います。廿日市のどこで日本語クラスが行われているかのリストとスケジュール。 (アメリカ、60～69歳)

(4) 労働条件について (4件)

1	定年退職の年齢を65歳ではなく70歳にしてもらいたいです。アメリカでは、定年制はありません。働くことができなくなるまで働けます。(私はより長く日本で働くことを希望しています。) (アメリカ、60～69歳)
2	給与の昇給を望みます。テト(旧正月)に休みがほしいです。差別をしないでほしいです。 (ベトナム、20～29歳)

(5) 差別・偏見について (9件)

1	日本人と外国人の制度は同等でなければなりません。外国人向けの福利制度をより多く設けてほしいです。彼らは仕事が重労働であろうと関係なく、常に熱心に精一杯働いているのですから。 (ベトナム、20～29歳)
2	私は、生まれた時から日本に住んでいます。言葉・文化は分かりますが、(日本の)外国の方達の為にスーパーや銀行など、少しは外国の言葉をしゃべれる方の配属を考えてほしいと思います。外国の方達との交流は語学の勉強にはいいと思います。私の国籍は韓国ですが、日本の方は韓国を少し差別的な目で見る方が多いかなといつも感じます。 (韓国、40～49歳)
3	日本人から見て、外国人とは、ヨーロッパやアメリカ人のことを指し、アジア系の方は外国人枠から外され、偏見や差別視対応されているように感じます。私は、日本で生まれ、外見も日本人と変わらないので、一般的には差別は受けていませんが、就職時の面接や、病院時(入院時)に、外国籍とわかると急に態度が変わったり、嫌な思いをしました。日頃からの意識の問題だと思います。旧佐伯町でもアジア系住民が増加していますが、日本人の意識を変える取り組みをお願いします。 (韓国、50～59歳)

(6) 入管・参政権について (4件)

1	干渉されずに自由に往来したいです。 (ベトナム、20～29歳)
2	外国籍ですが、日本で生まれ育ち、今後もずっと日本で生活していく予定です。日本で暮らす者として今後の生活や環境等を左右する選挙に参加したい。選挙権があれば良いのになと思います。 (中国、30～39歳)

(7) 行政・市に対する要望について (13 件)

1	冊子を送っていただきありがとうございます。これもひとつの外国人に対する心配りとサポートですね。今私たちは年もまだ若いので、生活は何とかなっています。ただ、年齢が上がるにつれて何かしら問題が出てくる時には、行政に助けたいです。最後に、何か理解できないことがあるときに、すぐに通訳が見つけれられるようになってほしいです。ありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。 (中国、40～49 歳)
2	インターナショナルスクール(特に幼稚園、小学校)を増やしてほしいです。子育て支援制度をもっと充実化してほしいです。優遇措置を通じて外資系企業をより多く迎え入れてほしいです。文化活動のレベルを上げてほしいです。これらにより、他地域との差別化をし、本気で廿日市市に住み着くことを考えている外国人にとって魅力を感じられる町に変えられるのではと考えます。 (中国、30～39 歳)
3	わからないこととか困ったことがあったら相談するところがほしいです。大事な書類、お知らせの場合はふりがながあれば分かりやすいです。 (その他、20～29 歳)

(8) その他の意見 (21 件)

1	アンケートを作成してくださってありがとうございます。外国籍住民の福祉や幸福を気にかけてくださっていることは良いことだと思います。 (その他、60～69 歳)
2	市内で就学就業する外国籍の市民に対してお心遣いいただきありがとうございます。 (ベトナム、30～39 歳)
3	通訳、翻訳に関する仕事をしてましたので、廿日市市の国際交流・多文化共生がうまく進むために、自分の力も貢献したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。 (中国、30～39 歳)
4	廿日市をより美しい街にするために市が望むこと、市ができること、市と合意できることを知りたいです。 (その他、20～29 歳)